

2026年  
豊岡市まちづくりアンケート  
～政策モニタリング調査～

結 果 報 告 書

2026年3月

兵庫県豊岡市

# 目次

I 調査概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査の対象等 .....	1
3 集計・分析方法 .....	1
4 調査年ごとの回答状況 .....	1
II 調査結果 .....	2
1 回答者の属性 .....	2
2 自然と環境について（問8～問11） .....	6
3 子育てと教育について（問12～問16） .....	11
4 環境と経済について（問17～問18） .....	17
5 健康と運動について（問19～問23） .....	20
6 公共交通について（問24～問27） .....	27
7 地域の歴史、伝統、文化芸術について（問28～問33） .....	31
8 防災について（問34～問39） .....	37
9 まちづくりと観光について（問40～問45） .....	44
III 調査票 .....	51

# I 調査概要

## 1 調査の目的

豊岡市は、よりよいまちづくりを行うために、市の重要政策について戦略的政策評価を実施している。戦略的政策評価は、目指す姿を明確にしたうえで、それを実現する手段を段階的かつ論理的に立案し、改善していく手法である。

有効な手段の立案や改善を行うためには、市が保有している行政情報のほかに、市民の考え方や行動などの情報も必要となる。本アンケート調査は、市の重要政策に関する市民の考え方や行動などについて、客観的な情報を得るために毎年実施しているものである。

## 2 調査の対象等

調査対象	無作為に抽出した18歳以上の市内在住者3,000人
調査方法	配布：郵送 回答：郵送、ウェブ回答フォーム
調査期間	2026年1月16日～2月6日
回答数	1,277票（回答率42.6%）
設問数	45問 ※調査票は巻末に掲載
実施主体	豊岡市（市長公室経営企画課経営企画係）

## 3 集計・分析方法

- (1) 集計及び分析は「無回答」を除いた有効回答を対象に行っている。
- (2) 集計結果は小数点第2位(又は第3位)を四捨五入しているため、表示の比率の合計が100%を前後する場合がある。
- (3) 本報告書においては、10代と20代を「若年層」、30代～60代を「壮年層」、70代と80代以上を「老年層」としている。
- (4) 分析にあたっては、原則として設問に対する最も否定的な回答選択肢から順に1から5(又は4)に点数化し、回答平均値の算出や統計的仮説検定を行っている。なお、前回の2025年調査より、対象者数をそれまでの4,000人から3,000人に変更しているため、これらの平均値や仮説検定の結果は、2025年より前と後で条件が異なっていることにご留意いただきたい。
- (5) 調査はその年度の1月に実施しているため、本報告書では年度ではなく「〇〇年調査」という呼称を用いている。

## 4 調査年ごとの回答状況

	対象数 (人)	回答数 (票)	回答率 (%)	郵送回答数 (票)	ウェブ回答数 (票)
今回(2026年)	3,000	1,277	42.6	900	377
前回(2025年)	3,000	1,297	43.2	1,011	286
前々回(2024年)	4,000	1,759	44.0	1,396	363

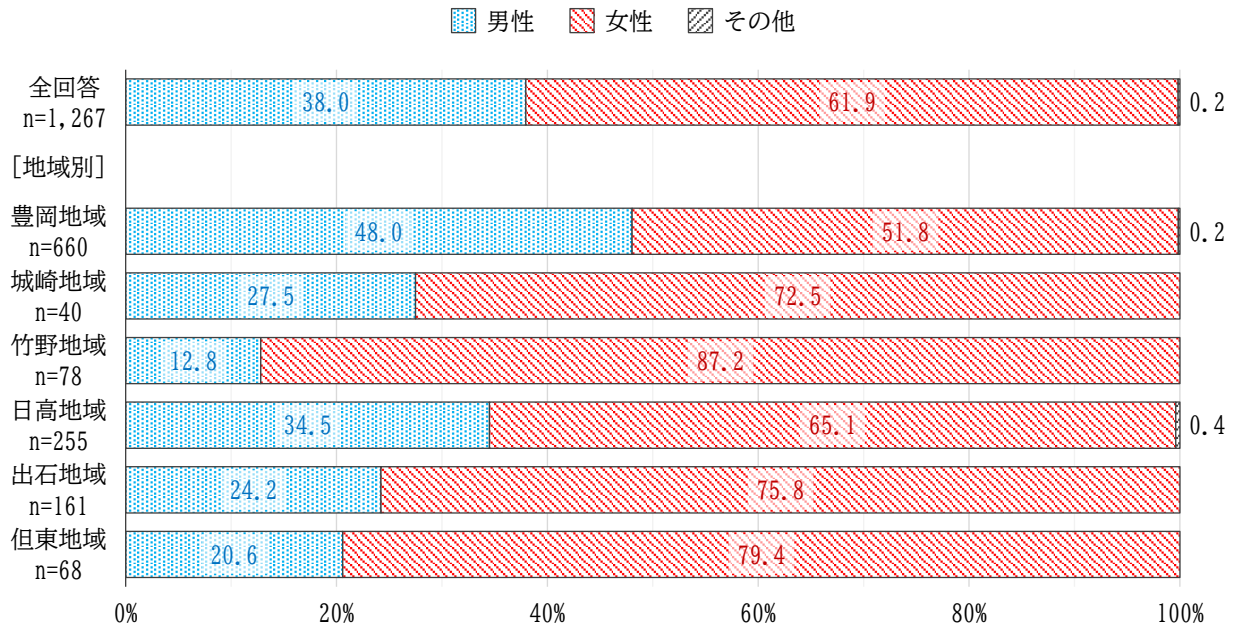
## II 調査結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 性別

全体では、「女性」の回答割合（61.9%）が「男性」（38.0%）を23.9ポイント上回っている。地域別に見ても、すべての地域で「女性」のほうが多くなっており、特に竹野地域では回答の約9割が女性となっている。

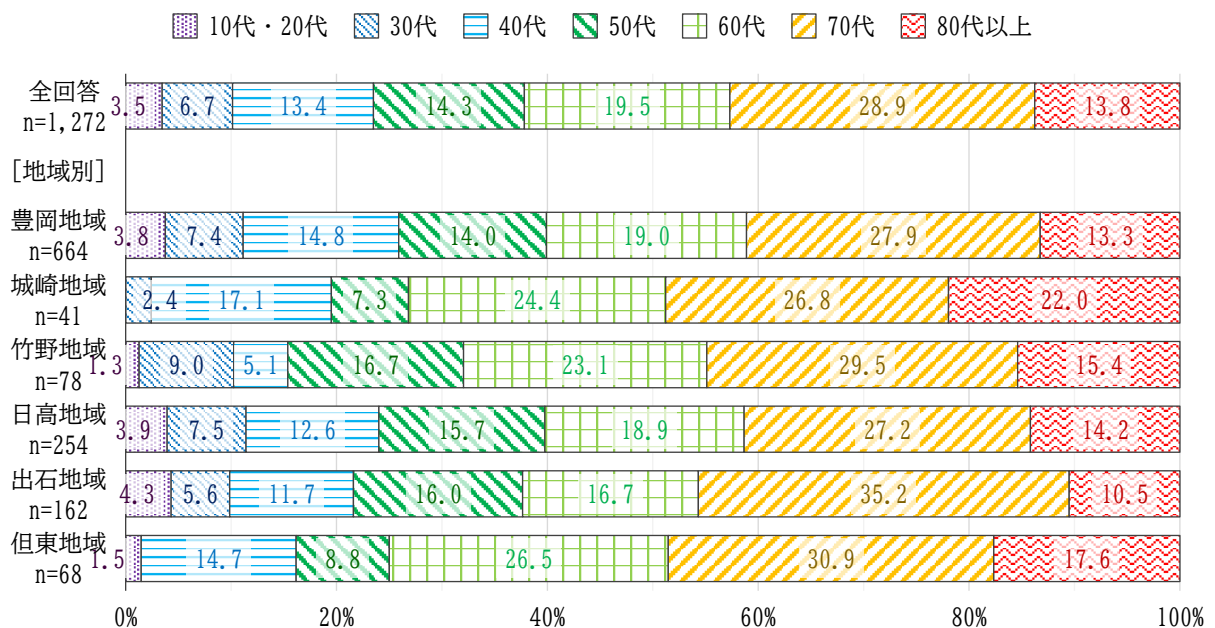
図 1：性別



#### (2) 年齢

全回答・地域別ともに、「50代」以上の年齢の回答割合が全体の7割以上を占めており、城崎地域、竹野地域及び但東地域においては8割を超えている。

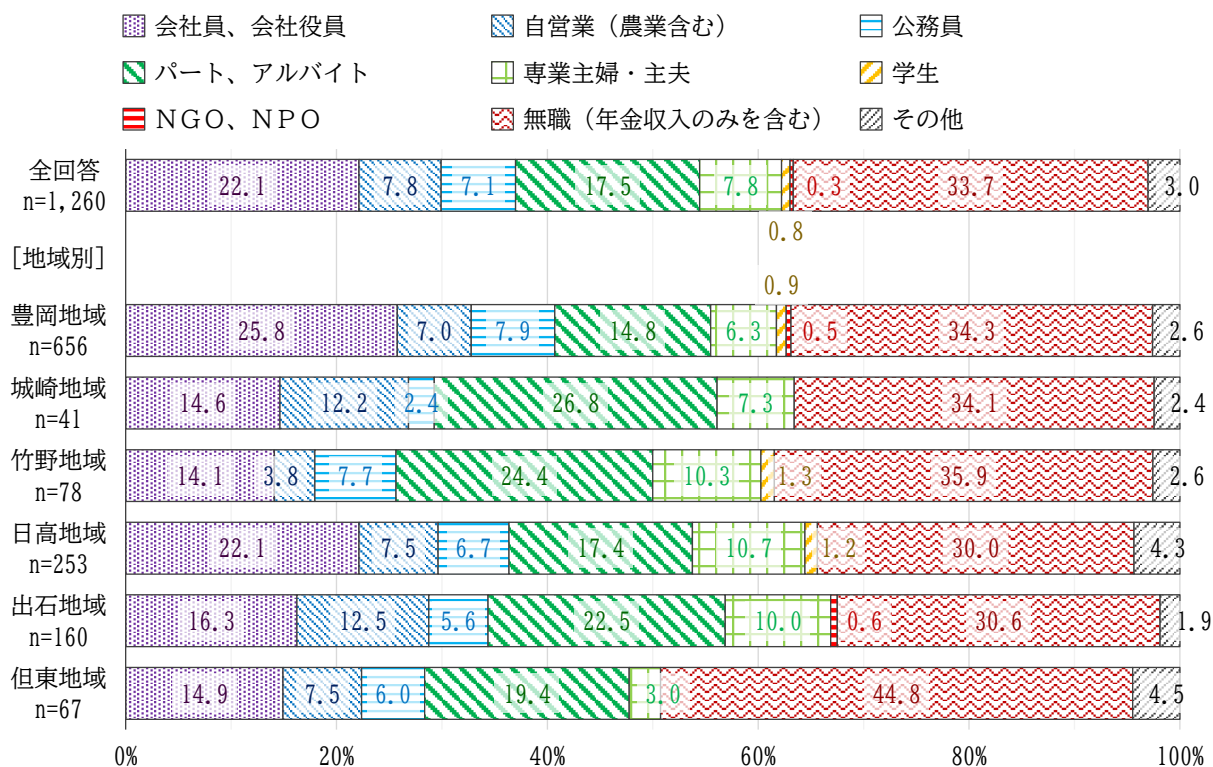
図 2：年齢



### (3) 職業

職業別では、「無職（年金収入のみを含む）」からの回答が最も多い。中でも但東地域は、ほかの地域と比較して10ポイント程度高くなっている。

図3：職業



### (4) 居住地域

居住地域別に回答率を見てみると、城崎地域は33.9%と、唯一回答率が4割を下回っている。

表1：居住地域ごとの回答状況

	対象数 (人)	回答数 (票)	回答率 (%)	ウェブ回答数 (票)	ウェブ回答割合※ (%)
豊岡地域	1,660	665	40.1	222	33.4
城崎地域	121	41	33.9	9	22.0
竹野地域	161	78	48.4	16	20.5
日高地域	578	255	44.1	80	31.4
出石地域	336	162	48.2	38	23.5
但東地域	144	68	47.2	12	17.6
地域不明	-	8	-	0	-

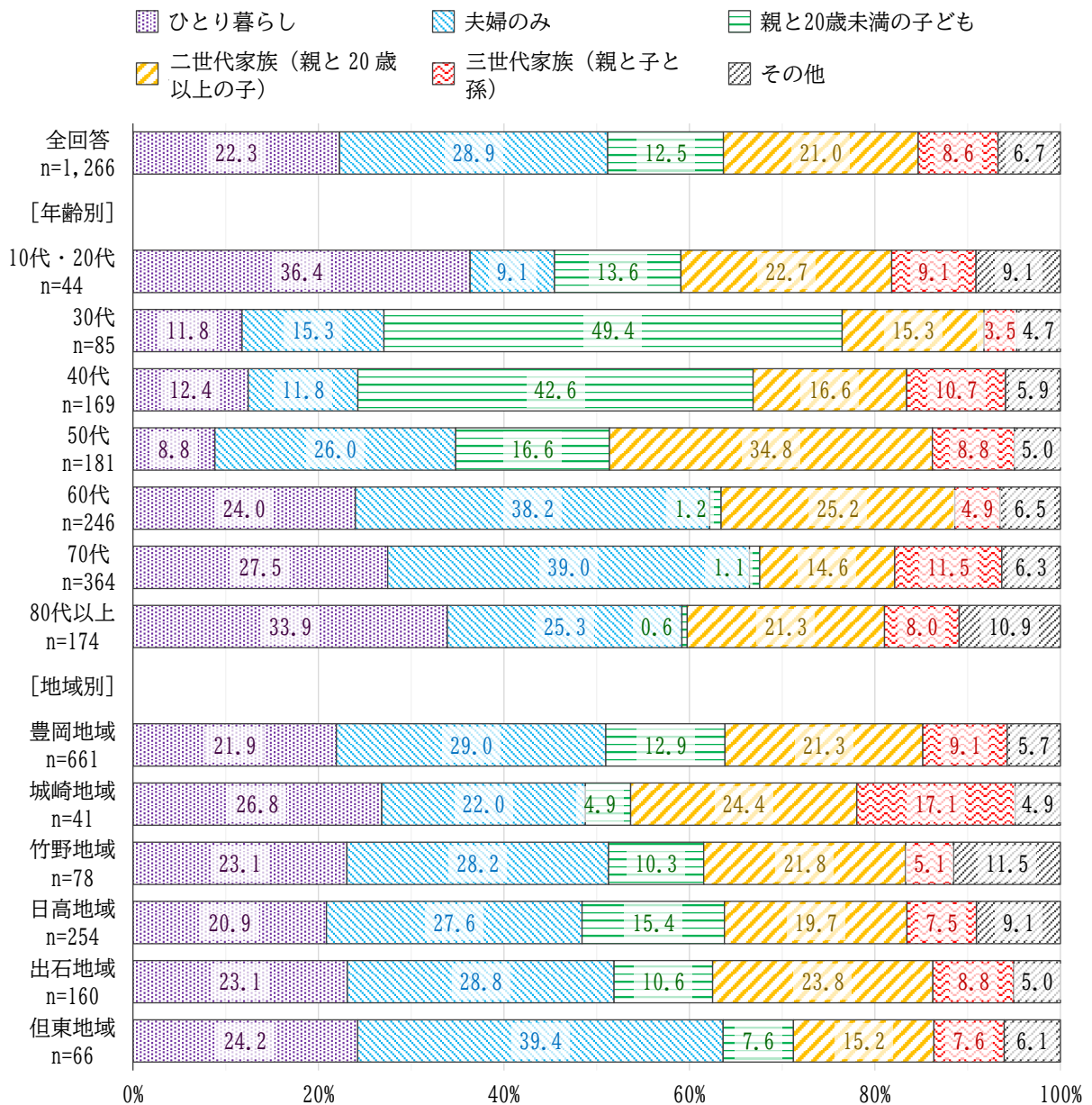
※ウェブ回答割合は、各地域の有効回答数に占めるウェブ回答数の割合

## (5) 家族構成

全回答では、「夫婦のみ」(28.9%)が最も多く、次いで「ひとり暮らし」(22.3%)、「二世世代家族(親と20歳以上の子)」(21.0%)の順で多くなっている。年齢別に見ると、70代では「夫婦のみ」(39.0%)が最も多いが、80代以上になると「ひとり暮らし」(33.9%)が最も多いことがわかる。

また、地域別では、但東地域の「夫婦のみ」の割合(39.4%)がほかの地域より高く、「親と20歳未満の子ども」や「二世世代家族」といった、子どものいる回答者の割合は比較的小さいことがわかる。

図4：家族構成



## (6) 高校生以下の子どもの有無

同居家族に高校生以下の子どもがいる回答者の数は、以下のとおりである。

表 2：子どもがいると回答した人数 (人)

	子ども有*	子ども有*		
		小学生以下	中学生	高校生
豊岡地域	146	85	61	53
城崎地域	9	6	3	5
竹野地域	10	10	2	1
日高地域	57	33	23	23
出石地域	27	18	9	12
但東地域	13	9	6	4
地域不明	1	0	1	0
合計	263	161	105	98

※回答者により「小学生以下」と「中学生」など重複している場合もあるため、内訳の合計と「子ども有」の数は必ずしも一致しない。

## (7) 居住形態

回答者の居住形態を見てみると、最も多いのは「持ち家（一戸建て）」の 82.7%、次いで「賃貸（マンション等集合住宅）」の 10.3%となっている。

表 3：居住形態

		持ち家		賃貸		社宅・寮・シェアハウス等	その他	合計
		一戸建て	集合住宅	一戸建て	集合住宅			
豊岡地域	人数(人)	529	4	27	85	10	10	665
	割合(%)	79.5	0.6	4.1	12.8	1.5	1.5	100
城崎地域	人数(人)	35	0	1	2	2	1	41
	割合(%)	85.4	0	2.4	4.9	4.9	2.4	100
竹野地域	人数(人)	70	0	2	4	1	1	78
	割合(%)	89.7	0	2.6	5.1	1.3	1.3	100
日高地域	人数(人)	214	2	7	27	3	1	254
	割合(%)	84.3	0.8	2.8	10.6	1.2	0.4	100
出石地域	人数(人)	138	1	4	12	3	4	162
	割合(%)	85.2	0.6	2.5	7.4	1.9	2.5	100
但東地域	人数(人)	62	0	5	0	0	0	67
	割合(%)	92.5	0	7.5	0	0	0	100
地域不明	人数(人)	5	0	0	1	0	0	6
	割合(%)	83.3	0	0	16.7	0	0	100
合計	人数(人)	1,053	7	46	131	19	17	1,273
	割合(%)	82.7	0.5	3.6	10.3	1.5	1.3	100

## 2 自然と環境について（問8～問11）

### (1) 問8『あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表4のとおりである。なお、平均値を算出している設問については、調査年間や回答者の属性間の回答平均値の差が統計的に有意な差※かどうかを、独立したサンプルのt検定によって検定している（有意水準 $\alpha$ は5%。以下同様）。

表4：調査年ごとの回答平均値

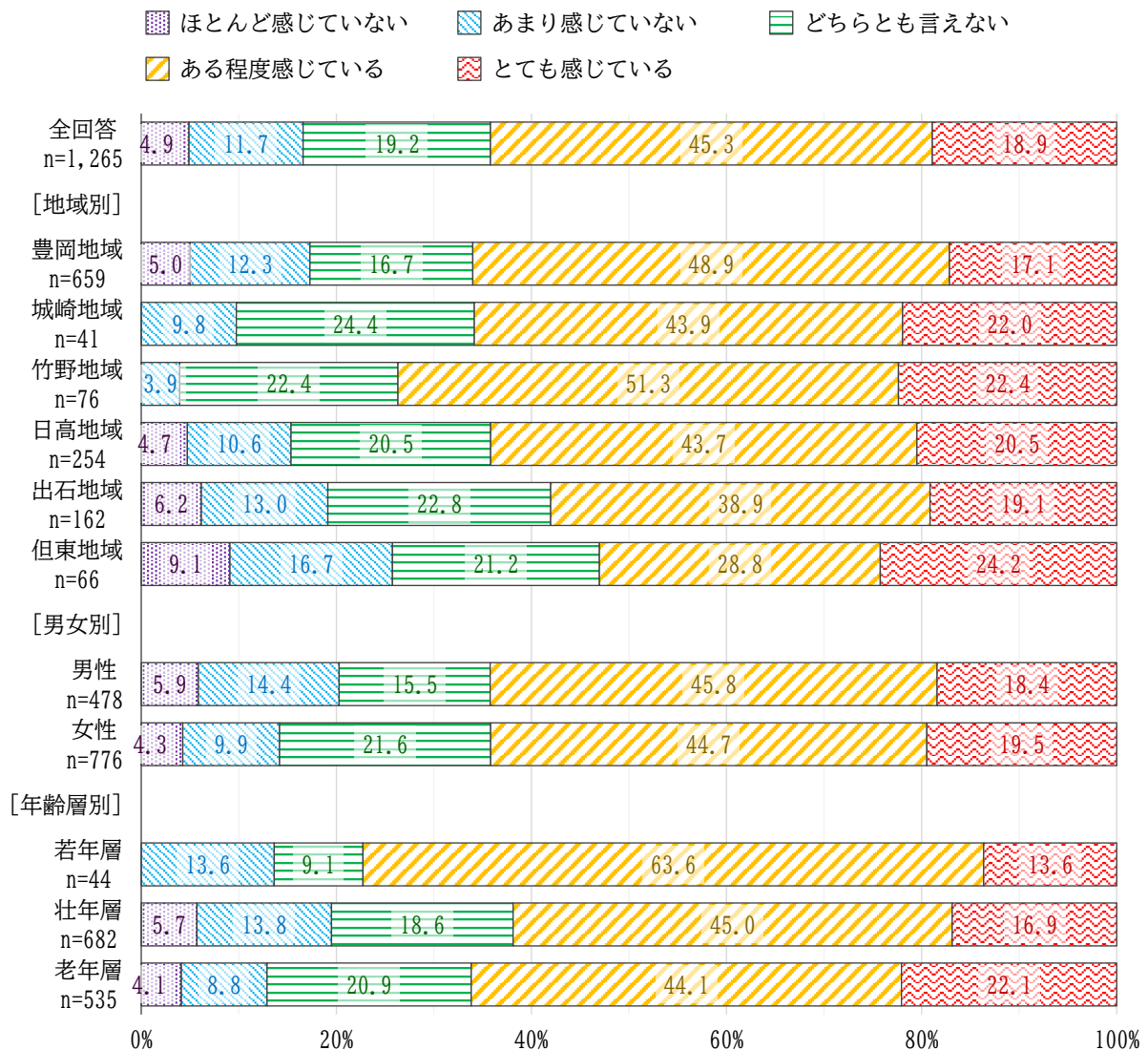
2026年調査	3.62
2025年調査	3.65
2024年調査	3.66

問8の回答平均値は、前回調査から有意な変化は見られない。

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図5のとおりである。

地域別では、竹野地域で肯定的な回答が比較的多くなっている。また、年齢層別では、若年層で特に肯定的な回答が多くなっている。

図5：豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じているか



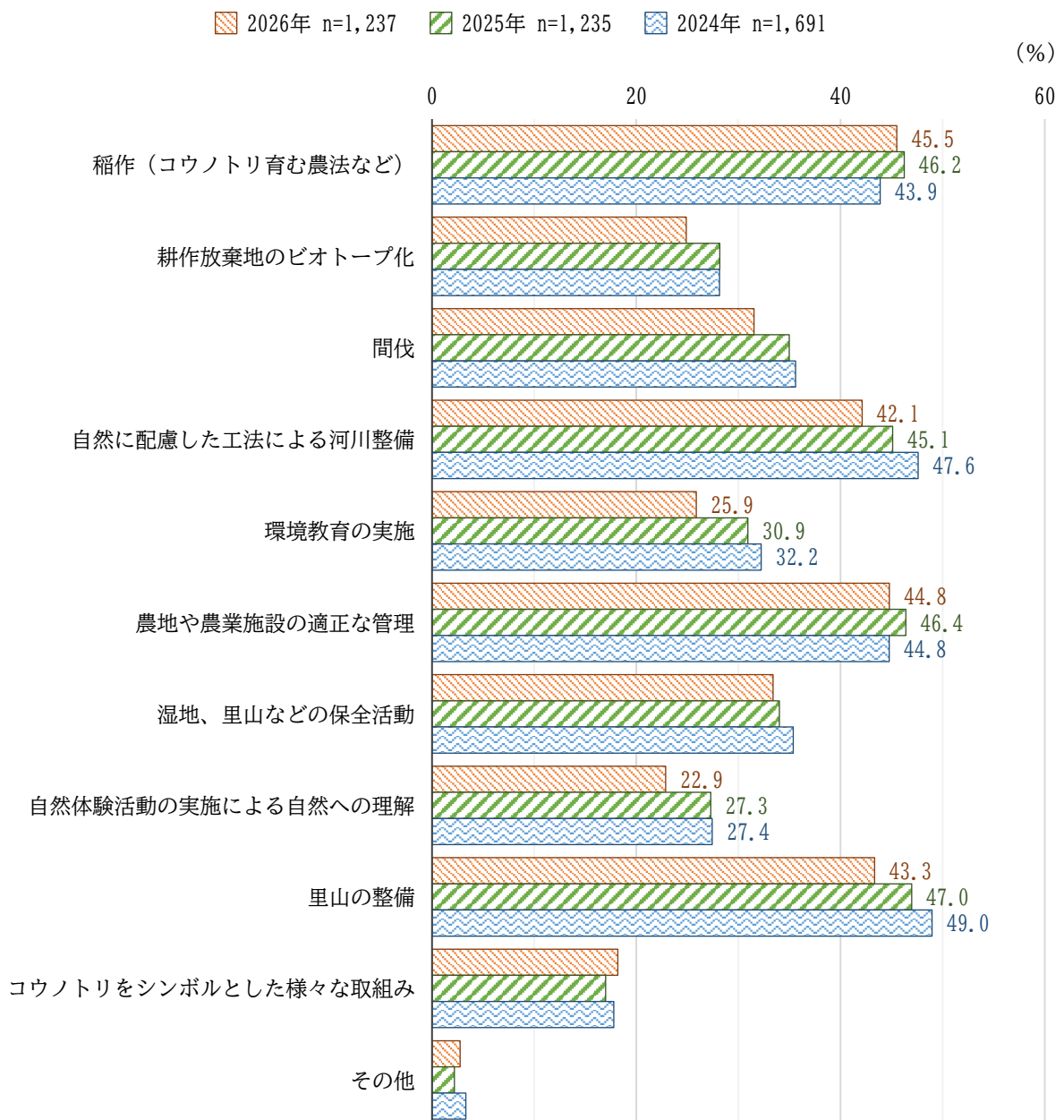
※2群の平均値の差における「統計的に有意な差」とは、得られたアンケート結果から母集団の値を推測したとき、母集団における2群の平均値に差があるかどうかということ。検定の結果有意な差が認められない場合は、2群の平均値の差が0である（差がない）可能性を否定できないということになる。

(2)問9『あなたは、生物多様性保全のためにどのような取組みが重要と思いますか』（複数回答可）

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図6のとおりである。

今回調査で多く選択された取組みは、「稲作（コウノトリ育む農法など）」（45.5%）、「農地や農業施設の適正な管理」（44.8%）、「里山の整備」（43.3%）、「自然に配慮した工法による河川整備」（42.1%）などである。多くの項目で選択割合は減少傾向にあるが、特に「環境教育の実施」と「自然体験活動の実施による自然への理解」は、前回調査から4～5ポイントと比較的大きく減少している。

図 6：生物多様性保全のために重要と思う取組み（全回答）

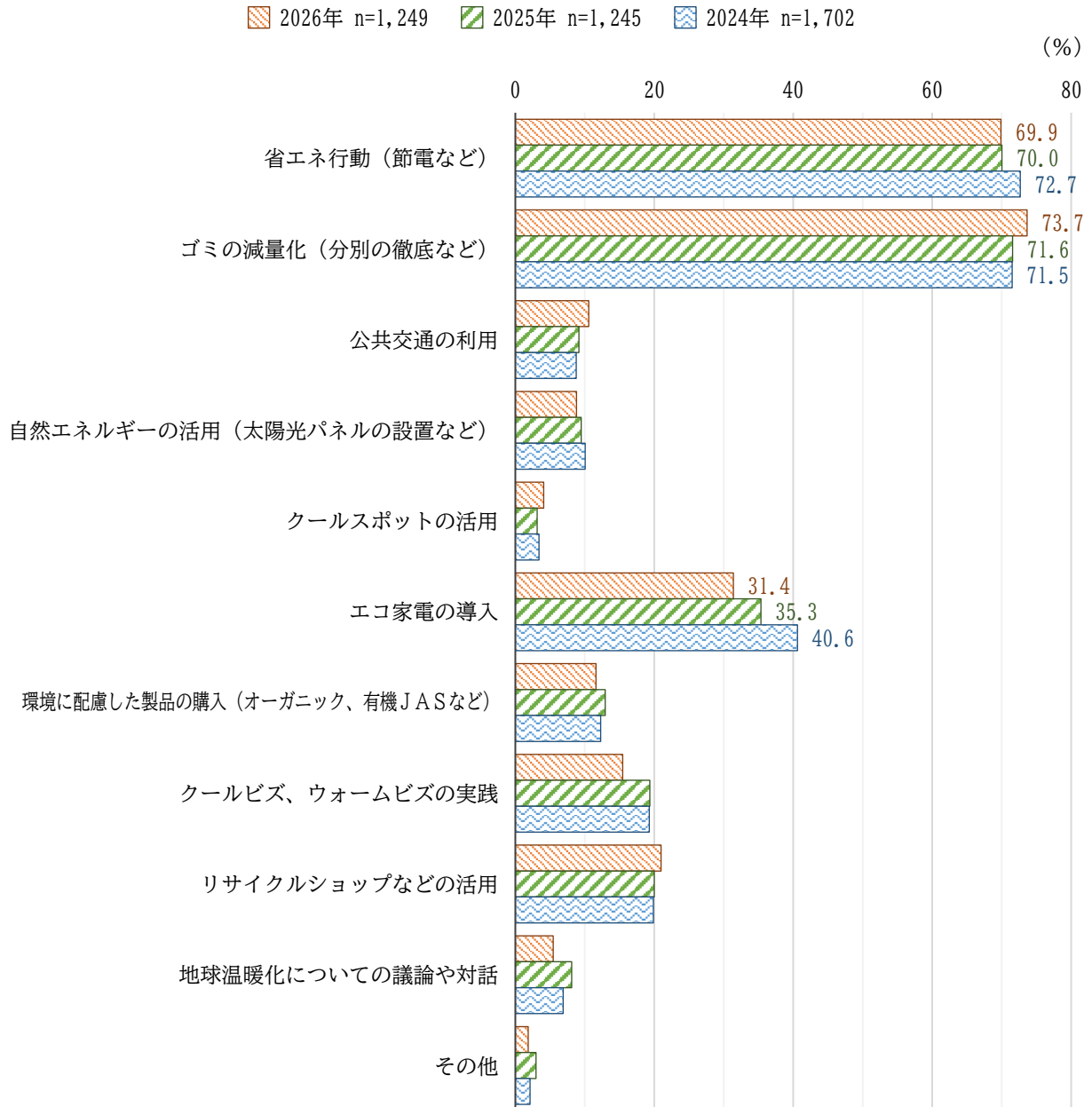


(3) 問10『あなたは、地球温暖化対策として、普段どのようなことを実践していますか』(複数回答可)

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図7のとおりである。

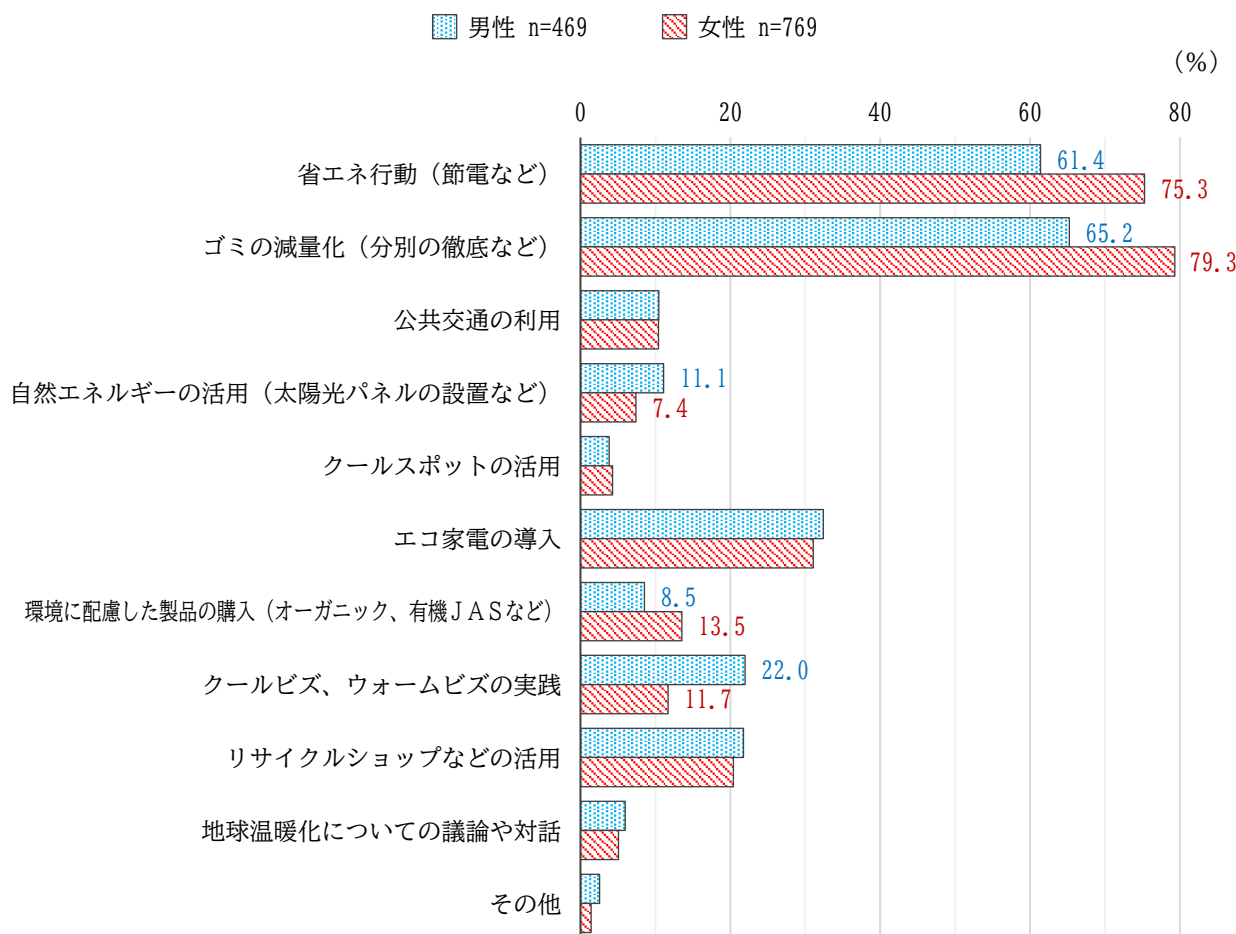
今回調査で多く選択された取組みは、「ゴミの減量化(分別の徹底など)」(73.7%)、「省エネ行動(節電など)」(69.9%)などである。「エコ家電の導入」の低下が比較的顕著であるが、これは2023年度に実施した「豊岡市省エネ家電買替補助金」の利用によるエコ家電への買い替えが一定程度あり、需要が一段落したためではないかと考えられる。

図7：地球温暖化対策として普段実践していること(全回答)



今回調査における、問 10 の男女別の集計結果は、図 8 のとおりである。

図 8：地球温暖化対策として普段実践していること（男女別）



男女間で、「実践している」と回答した割合に統計的に有意な差<sup>※</sup>があるかどうかを調べるため、それぞれの選択肢にて男女別の回答あり／なしのクロス集計表を作成し、カイ二乗検定を行った。結果は以下のとおりである。

<男性のほうが有意に回答割合が高い項目>

- ・自然エネルギーの活用（太陽光パネルの設置など）（ $p = 0.027$ ）
- ・クールビズ、ウォームビズの実践（ $p < 0.001$ ）

<女性のほうが有意に回答割合が高い項目>

- ・省エネ行動（節電など）（ $p < 0.001$ ）
- ・ゴミの減量化（分別の徹底など）（ $p < 0.001$ ）
- ・環境に配慮した製品の購入（オーガニック、有機JASなど）（ $p = 0.008$ ）

これまでの調査を通じて、おおむねこれらの項目で男女間の回答割合に有意な差が見られる傾向にある。

<sup>※</sup>クロス集計表における「統計的に有意な差」とは、アンケート結果によるクロス集計表から母集団における行変数と列変数の関係性（男女間での回答あり／なしの割合の差など）を推測したとき、母集団においても同じように関係性があると言えるかどうかということ。

(4) 問 11『あなたは、森林資源（木質バイオマス）や自然エネルギー（太陽光、風力、水力）などの「持続可能な地域資源」が有効に利用されていると思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表5のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない（ $p = 0.058$ ）。

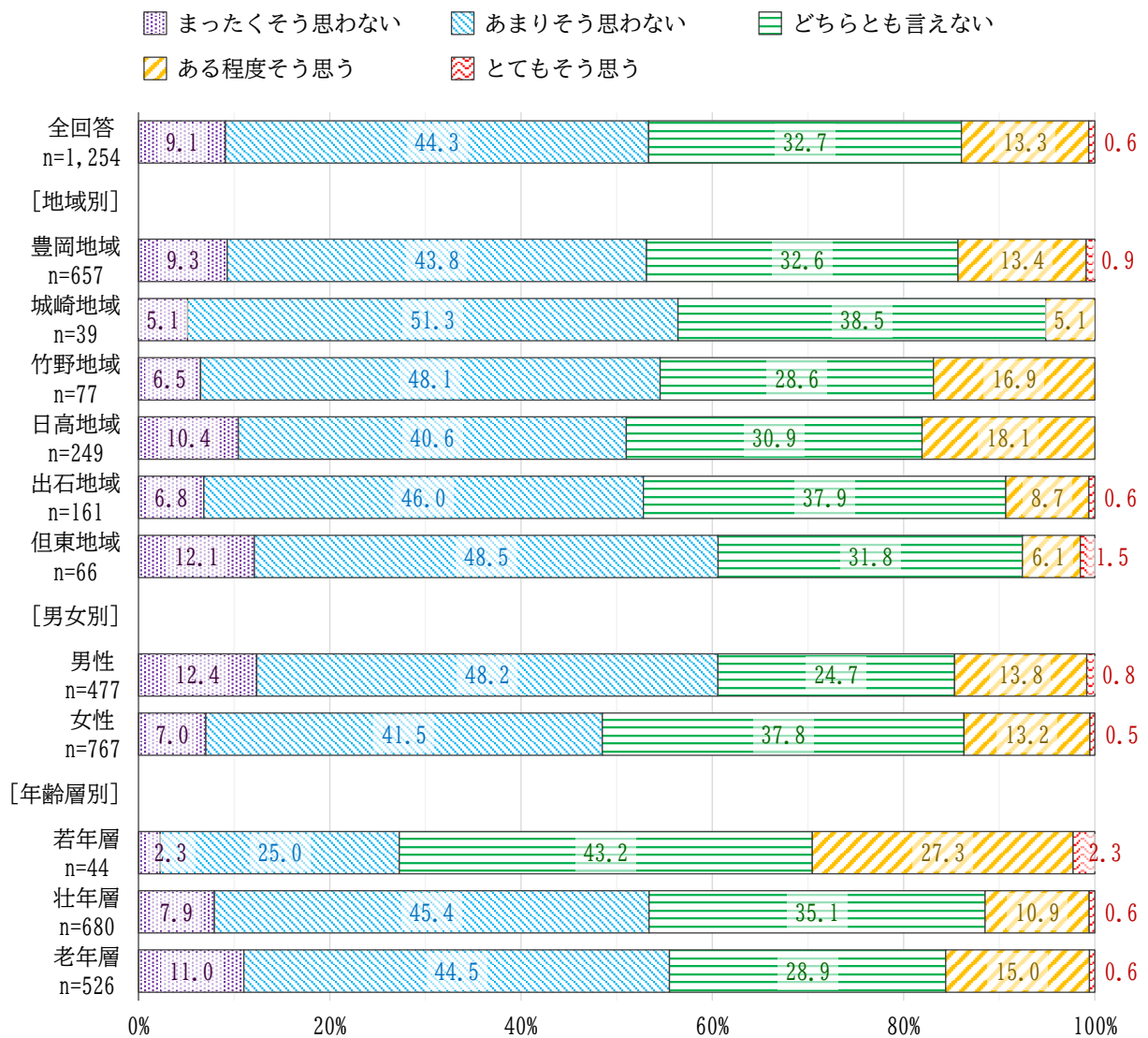
表 5：調査年ごとの回答平均値

2026年調査	2.52
2025年調査	2.46
2024年調査	2.50

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図9のとおりである。

多くのグループで「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の合計が5割を超えているが、年齢層別の若年層では、否定的な回答が少なく肯定的な回答が多くなっていることがわかる。

図 9：「持続可能な地域資源」が有効利用されていると思うか



### 3 子育てと教育について（問 12～問 16）

#### (1) 問 12『あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 6 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

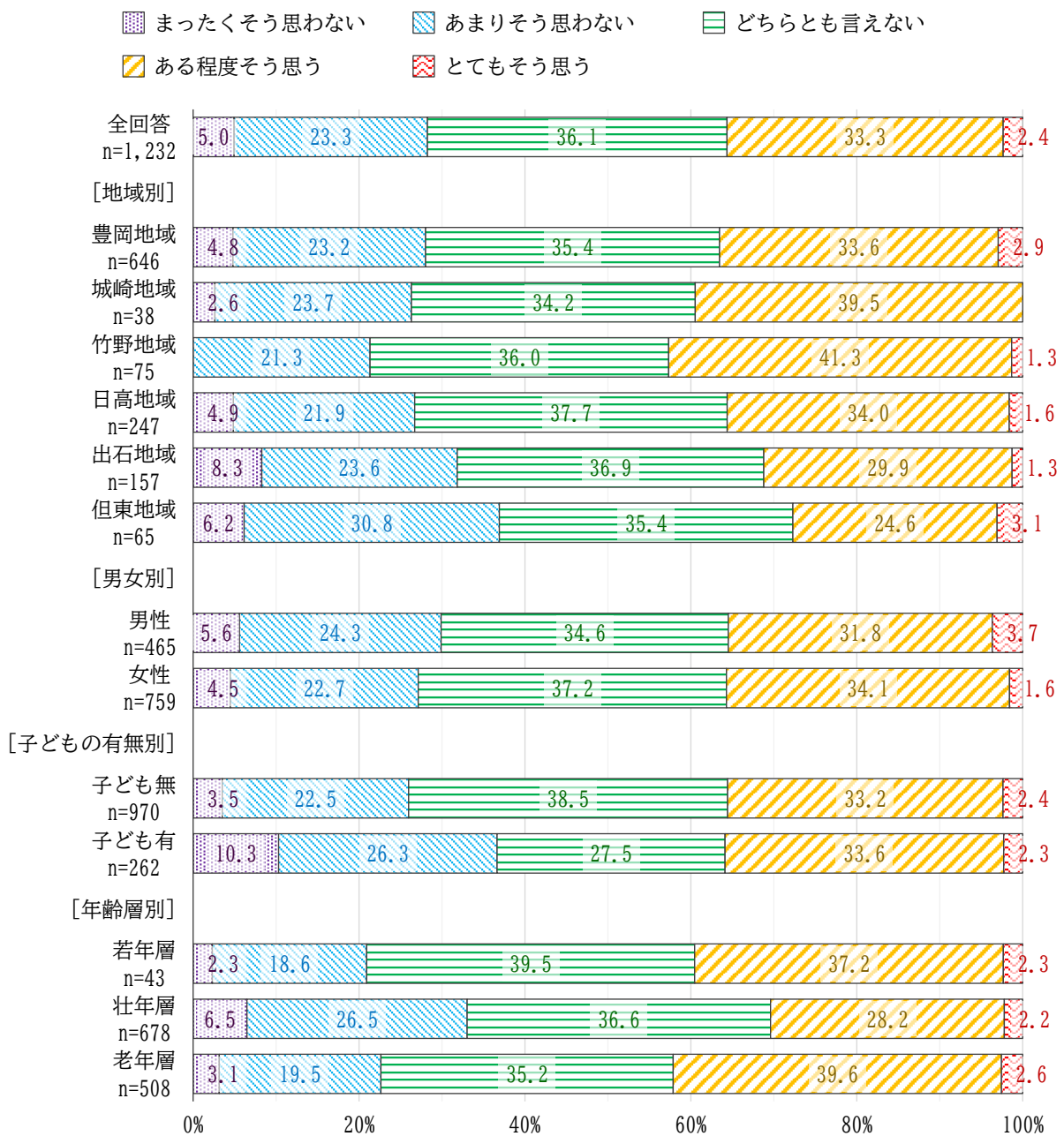
表 6：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.05
2025 年調査	3.00
2024 年調査	3.00

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 10 のとおりである。

現役の子育て世代の多い壮年層で、否定的な回答がほかの年齢層より多いことがわかる。また、子どもの有無別でも、子ども有の回答者のほうが否定的な回答が多くなっている。

図 10：豊岡市で安心して子育てができると思うか



(2) 問 13『豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 7のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p = 0.001$ ）、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると感じている市民は増えていると言える。

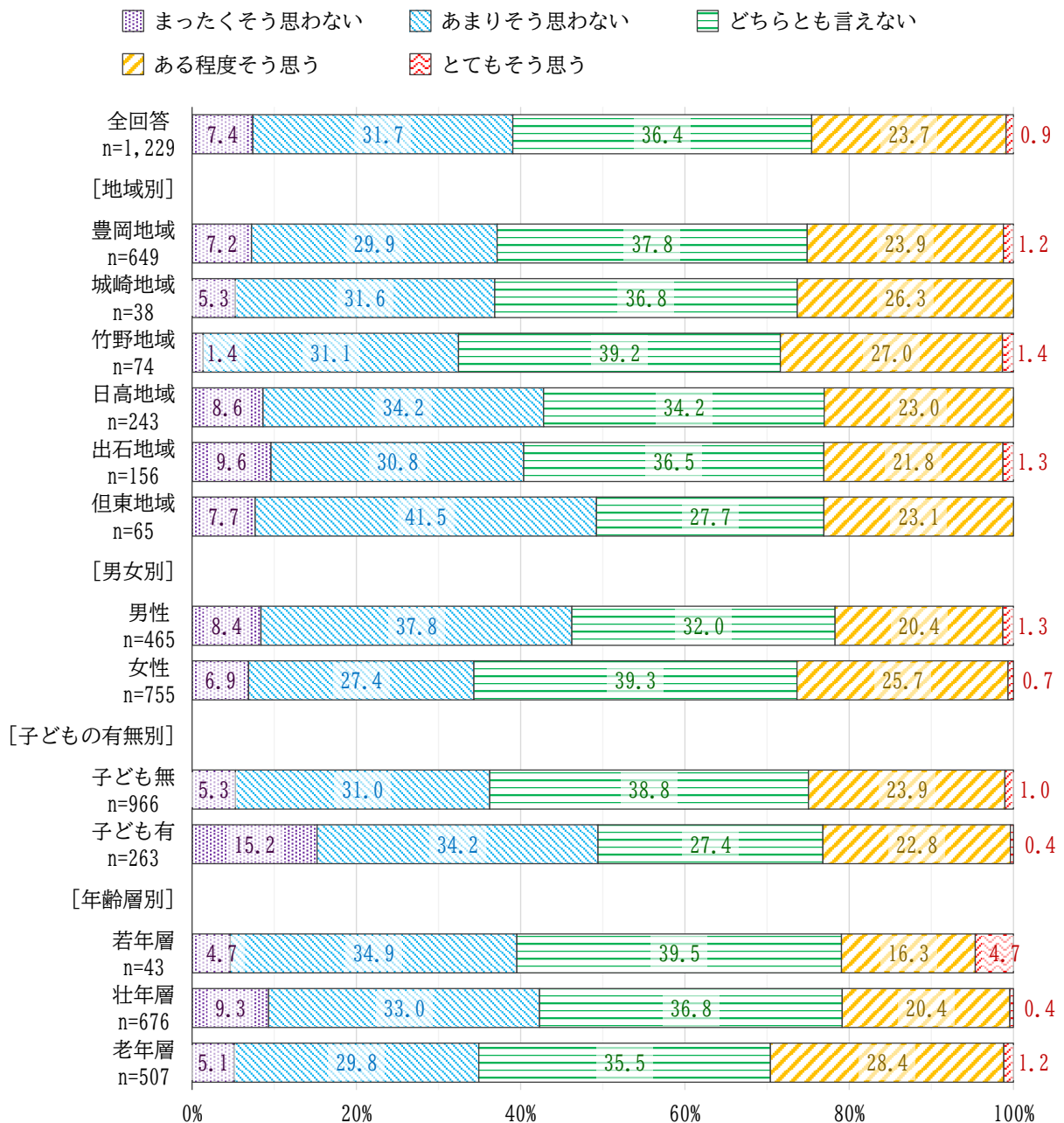
表 7：調査年ごとの回答平均値

2026年調査	2.79
2025年調査	2.67
2024年調査	2.63

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 11のとおりである。

前回調査と比べると、壮年層の回答者で比較的変動が大きく、否定的な回答が 50.8%から 42.3%と 8.5 ポイント減少し、肯定的な回答は 14.5%から 20.8%と約 6.3 ポイント増加している。また、子ども有の回答者においても、否定的な回答が 55.7%から 49.4%と 6.3 ポイント減少し、肯定的な回答は 17.9%から 23.2%と 5.3 ポイント増加している。

図 11：豊岡市は子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思うか



問 12 及び問 13 における、男女それぞれの子どもの有無別の回答平均値の推移は、図 12・図 13 のとおりである。

これまでの調査を通じて、おおむね女性よりも男性、子ども無よりも子ども有の回答者の平均値のほうが低い（否定的な回答が多い、あるいは肯定的な回答が少ない）傾向にある。

図 12：豊岡市で安心して子育てができると思うか（属性別回答平均値の推移）

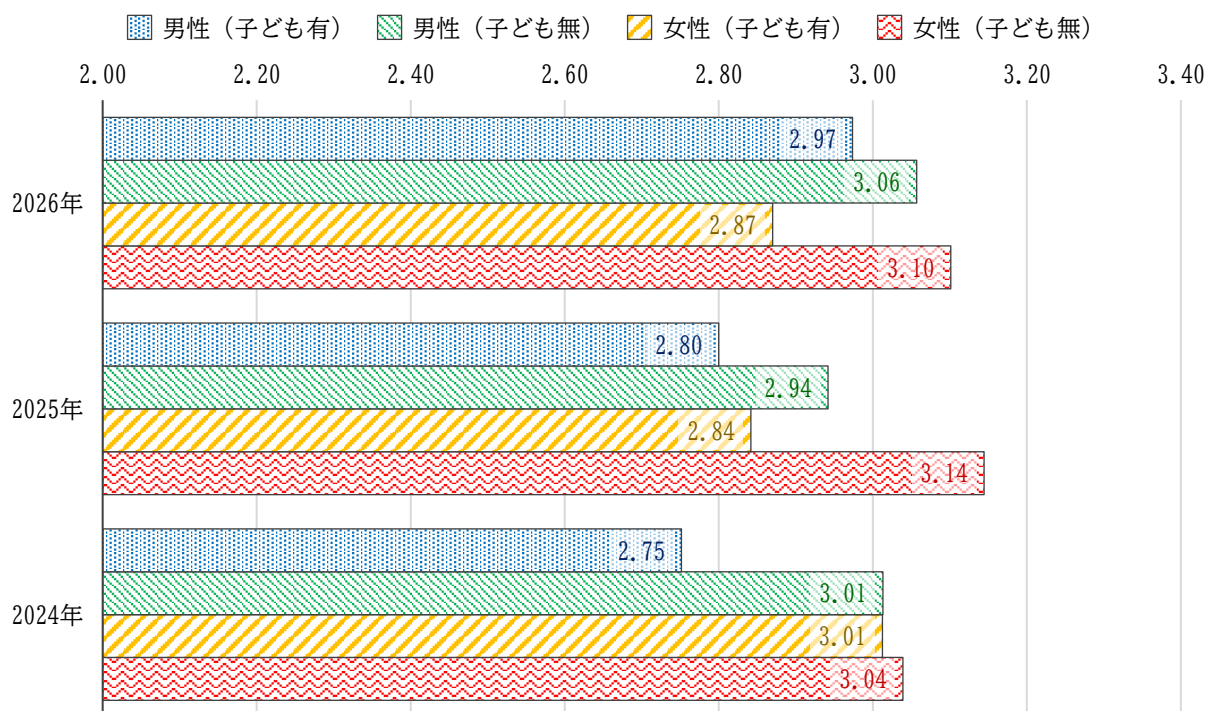
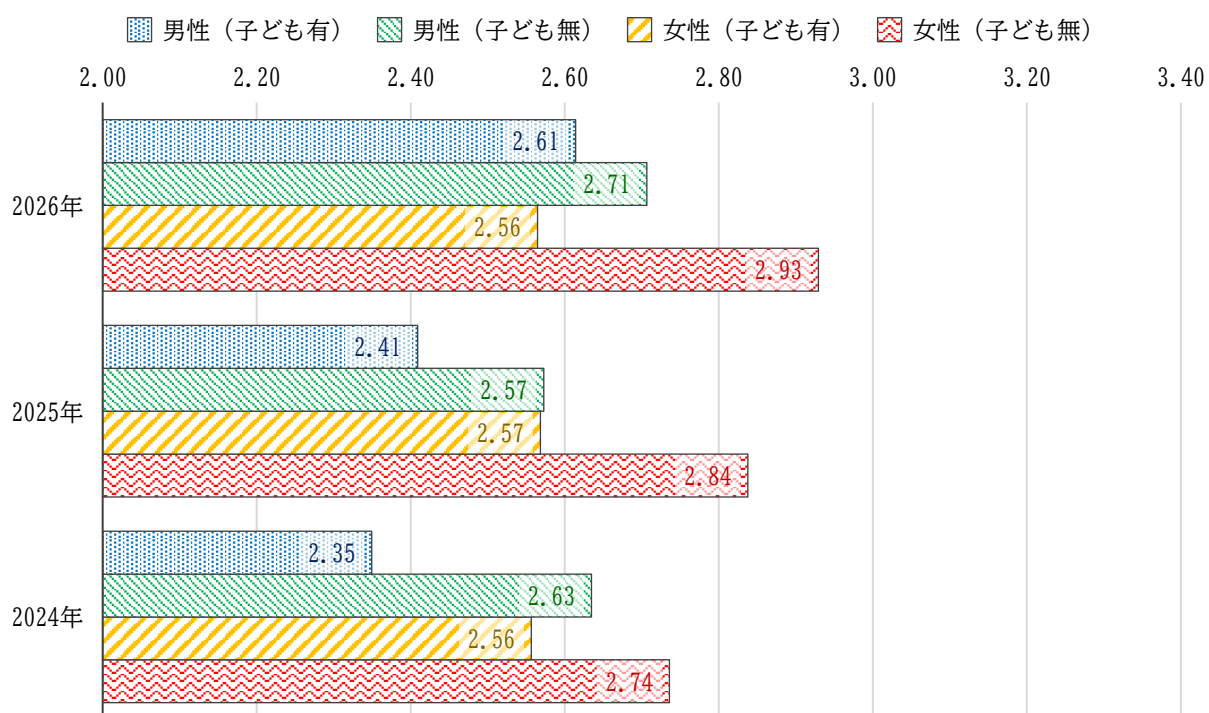


図 13：豊岡市は子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思うか（属性別回答平均値の推移）



(3) 問 14『あなたのまわりの子どもたち（小学生・中学生）は、まわりの大人たちとのあいさつや会話ができますか』

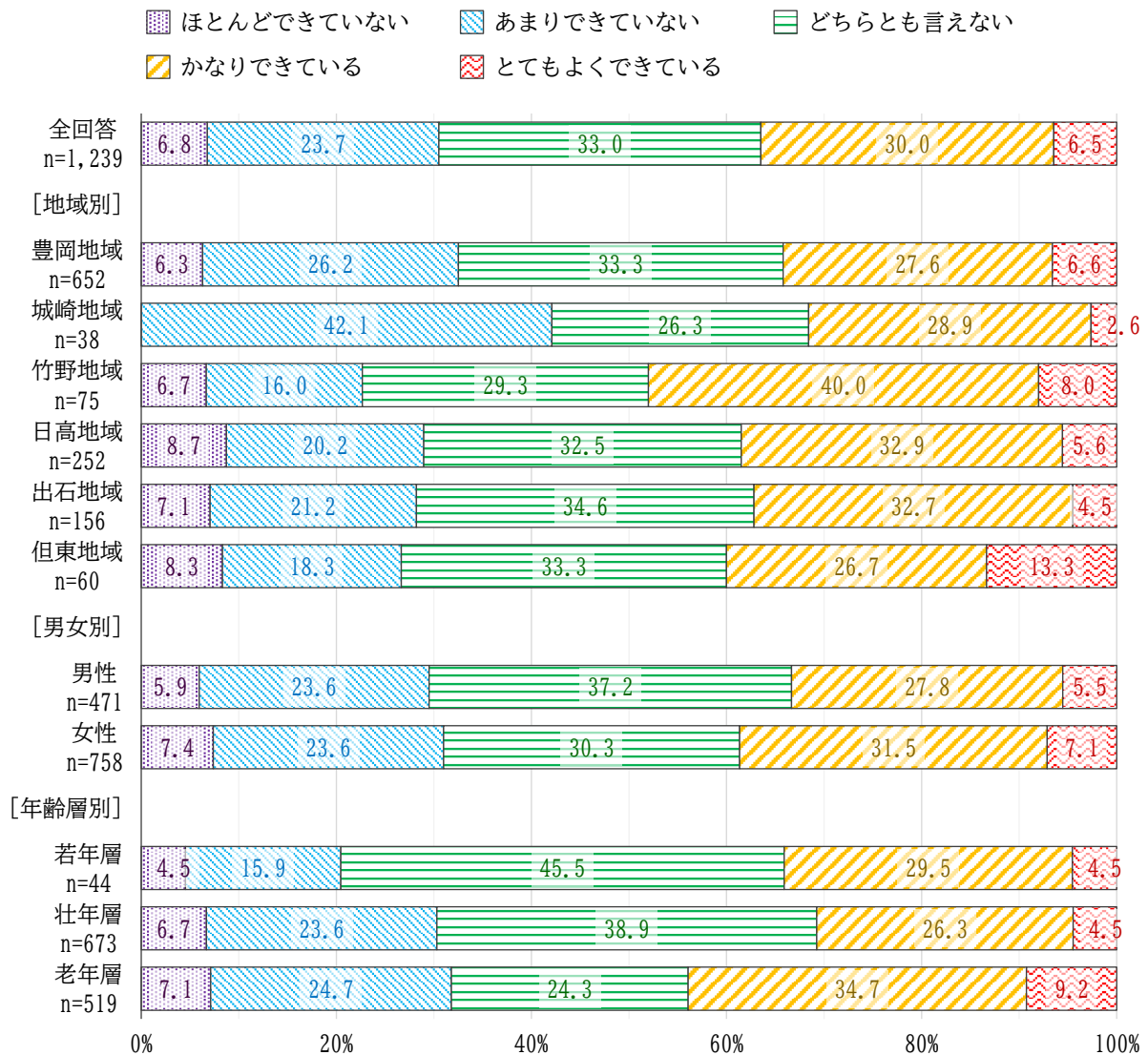
これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 8 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

表 8：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.06
2025 年調査	3.04
2024 年調査	3.03

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 14 のとおりである。  
 地域別では、竹野地域でほかの地域よりも肯定的な回答が多く、子どもたちが大人とのあいさつや会話ができていると感じている人が多いようである。

図 14：まわりの子どもたちは大人とのあいさつや会話ができるか



(4) 問 15『あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち（小学生・中学生）はどのくらい参加していますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表9のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

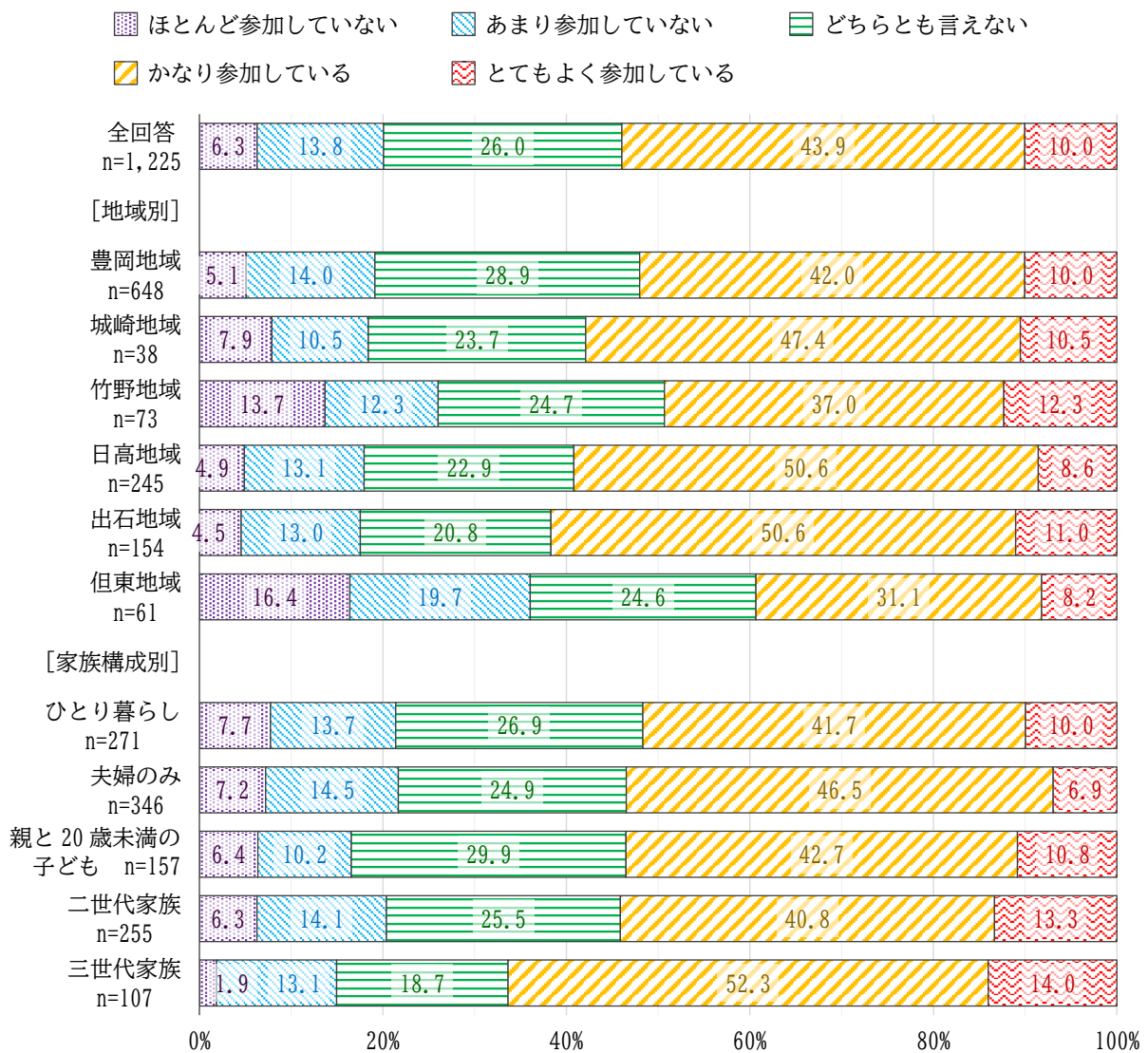
表 9：調査年ごとの回答平均値

2026年調査	3.38
2025年調査	3.40
2024年調査	3.43

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図15のとおりである。

地域別に見ると、竹野地域と但東地域で否定的な回答が比較的多くなっている。特にもっとも否定的な「ほとんど参加していない」の回答割合が高く、但東地域では前回調査から7.6ポイント上昇して16.4%となっている。

図 15：地域の子どもたちは伝統行事にどのくらい参加しているか



(5) 問 16『あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 10 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

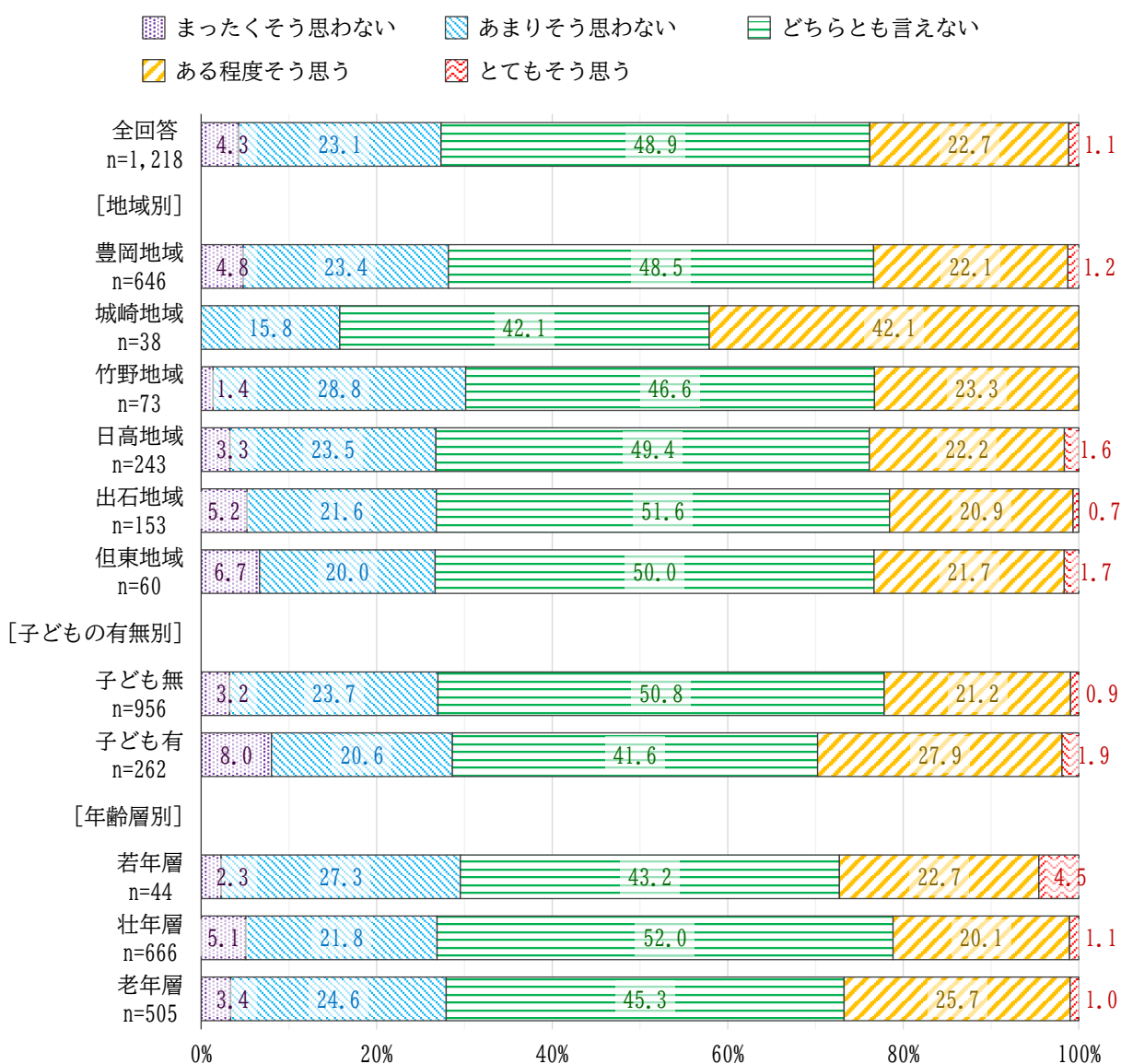
表 10：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.93
2025 年調査	2.94
2024 年調査	2.93

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 16 のとおりである。

地域別の城崎地域で、「ある程度そう思う」の回答割合がほかの地域より高くなっている。

図 16：まわりの子どもたちは豊岡に愛着を感じていると思うか



#### 4 環境と経済について（問 17～問 18）

##### (1) 問 17『日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 11 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

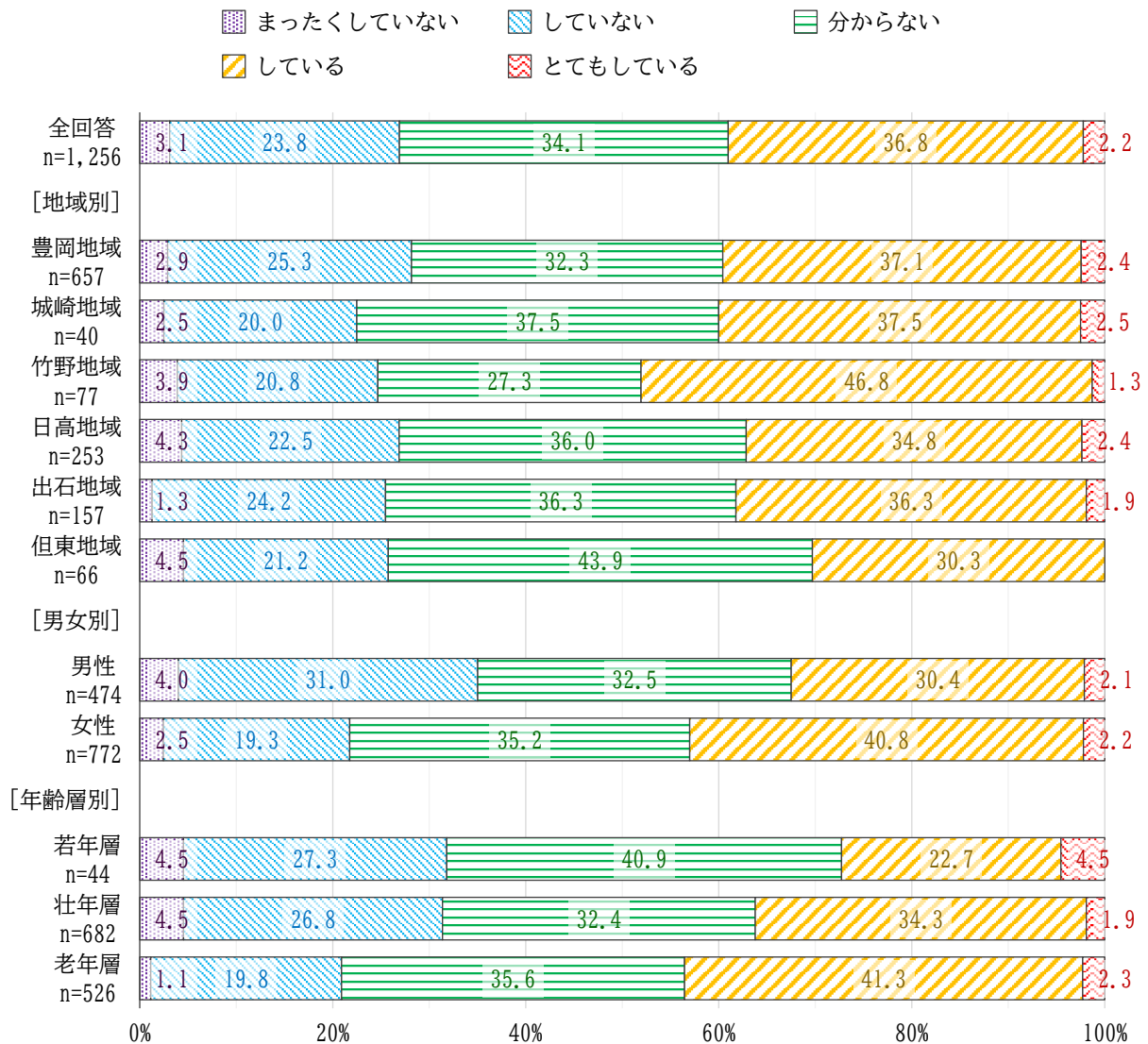
表 11：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.11
2025 年調査	3.11
2024 年調査	3.10

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 17 のとおりである。

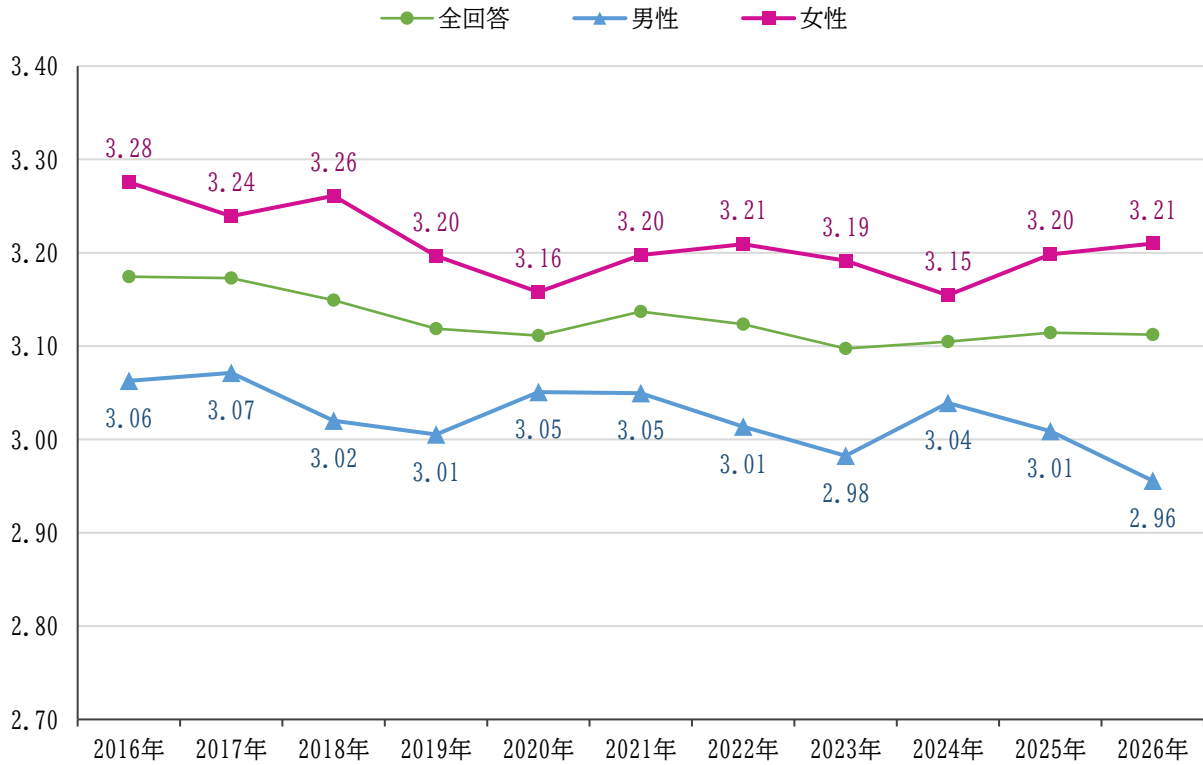
男女別に見ると、男性より女性のほうが肯定的な回答が多く、否定的な回答が少ないことがわかる。また、年齢層別では、年齢が上がるほど肯定的な回答が多くなる傾向にある。

図 17：環境に配慮した商品を意識して購入しているか



問 17 の、過去 10 年間の全回答及び男女別の回答平均値の推移は、図 18 のとおりである。  
 これまでの調査を通じて、一貫して男性よりも女性の回答平均値のほうが高い傾向が続いている。今回調査においても男女間で統計的に有意な差があり ( $p < 0.001$ )、女性は男性に比べ、日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していると言える。

図 18：環境に配慮した商品を意識して購入しているか（回答平均値の推移）



(2) 問 18『豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになるとお思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 12 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

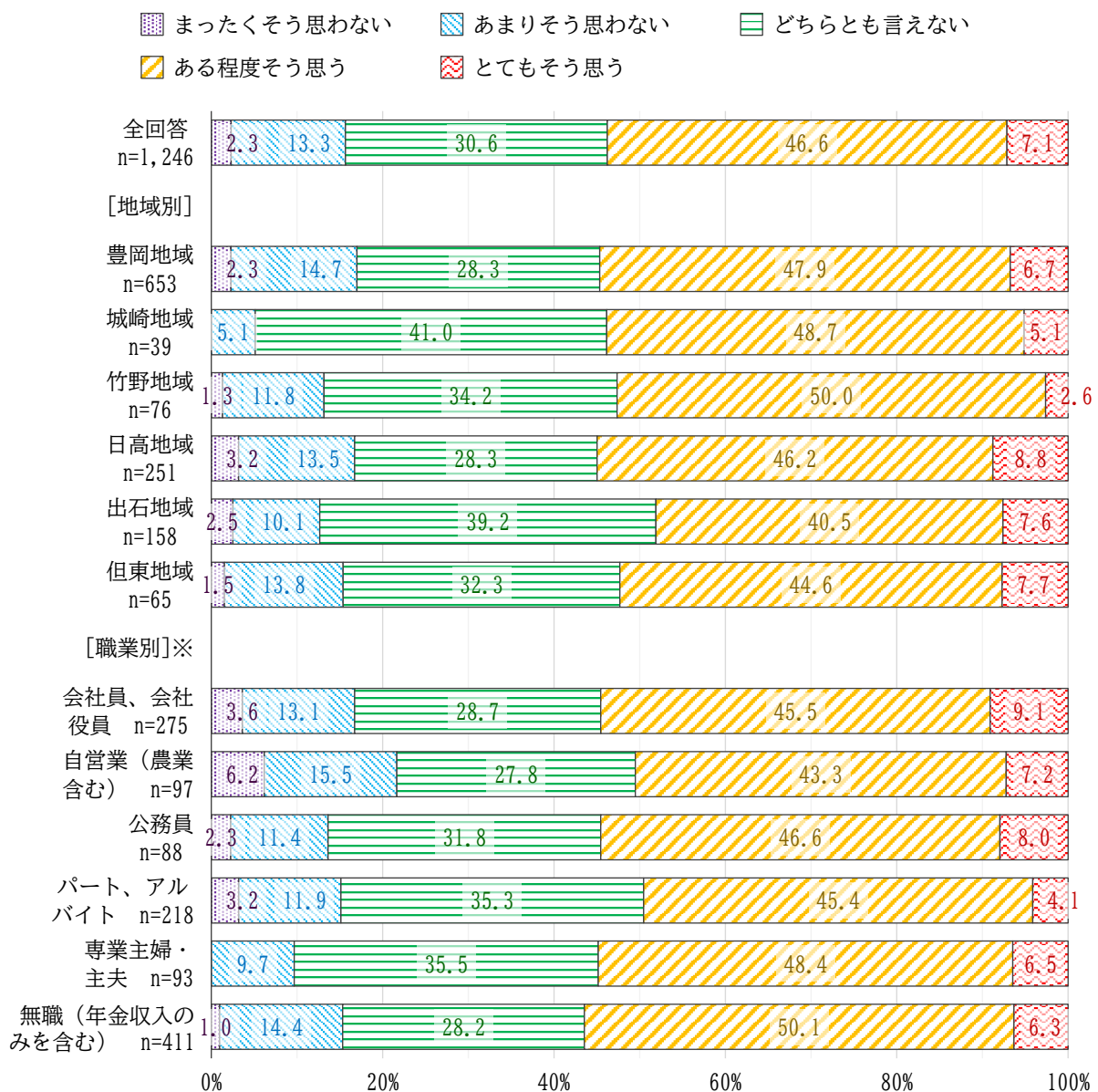
表 12：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.43
2025 年調査	3.39
2024 年調査	3.39

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 19 のとおりである。

前回調査と比べると、職業別の「公務員」及び「専業主婦・主夫」で肯定的な回答の割合が比較的大きく低下しており、「公務員」では 64.8%から 54.6%と 10.2 ポイント、「専業主婦・主夫」では 64.2%から 54.9%と 9.3 ポイントそれぞれ低下している。

図 19：環境を良くする取組みが豊岡市の経済にもプラスになると思うか



※職業別は、回答数の少ない「学生」、「NPO、NGO」及び「その他」を除いている

## 5 健康と運動について（問 19～問 23）

### (1) 問 19『あなたは現在、自分が健康だと思いますか』

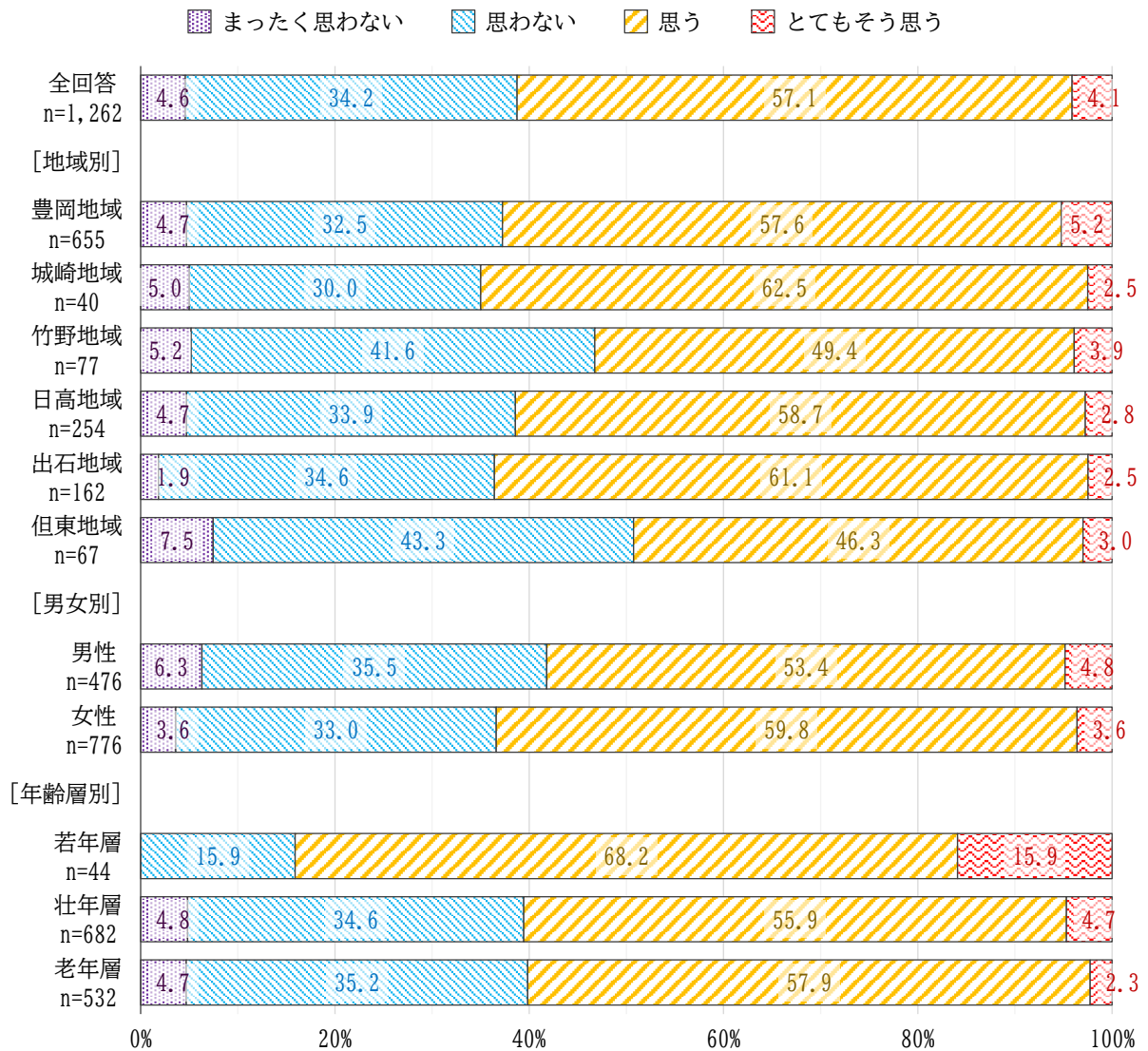
これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 13 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

表 13：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.61
2025 年調査	2.60
2024 年調査	2.61

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 20 のとおりである。  
 地域別の竹野地域及び但東地域で、否定的な回答がほかの地域よりやや多くなっている。

図 20：現在、自分が健康だと思うか



(2) 問 20 『あなたは健康維持・増進のために運動（1日30分以上）をしていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 14 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

表 14：調査年ごとの回答平均値

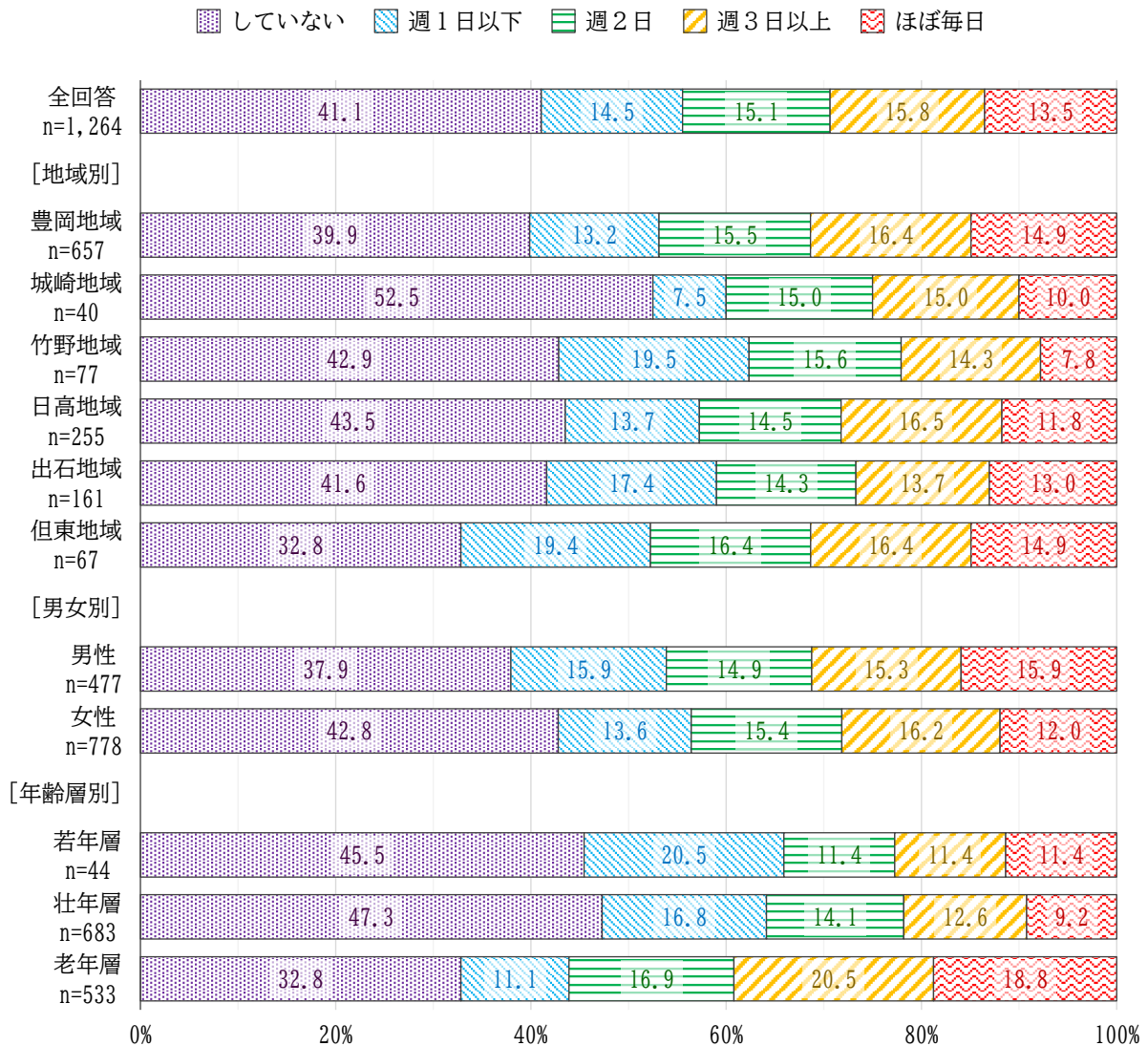
2026 年調査	2.46
2025 年調査	2.51
2024 年調査	2.40

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 21 のとおりである。

地域別の城崎地域で、「していない」の回答割合がほかの地域よりやや高くなっている。

年齢層別に見ると、「していない」の回答割合が最も高いのは壮年層で、47.3%となっている。一方、「ほぼ毎日」の割合が最も高いのは老年層で、18.8%となっている。

図 21：健康維持・増進のために1日30分以上の運動をしているか



(3) 問 21 『(問 20 で「している」と答えた方) その運動はどのくらい継続されていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 15 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

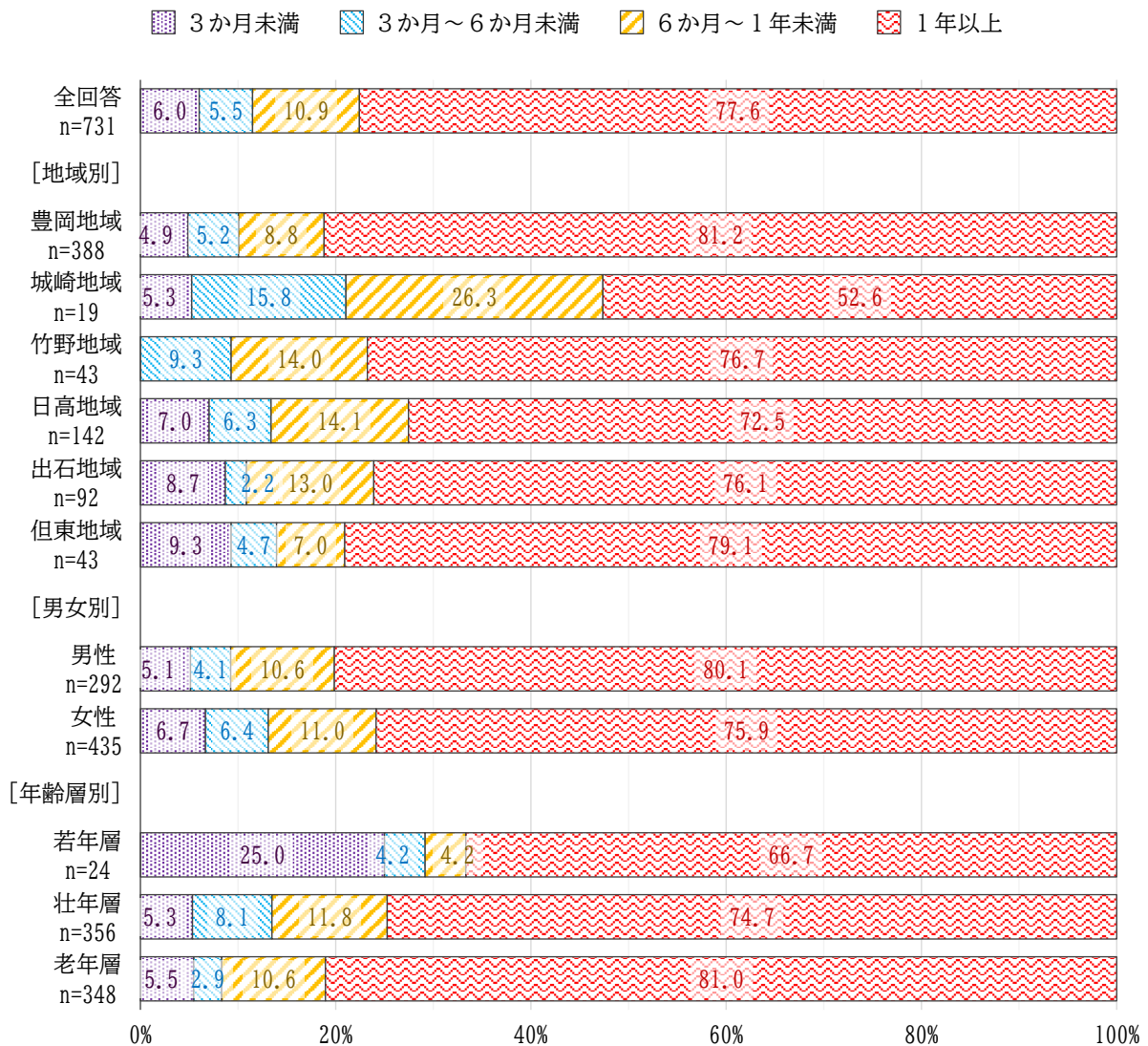
表 15：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.60
2025 年調査	3.56
2024 年調査	3.59

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 22 のとおりである。

すべての属性で「1年以上」の回答が最も多く、その割合も多くのグループで7割以上となっている。運動を「している」と回答した人は、一定程度継続してその運動を続けられている人が多いことがわかる。

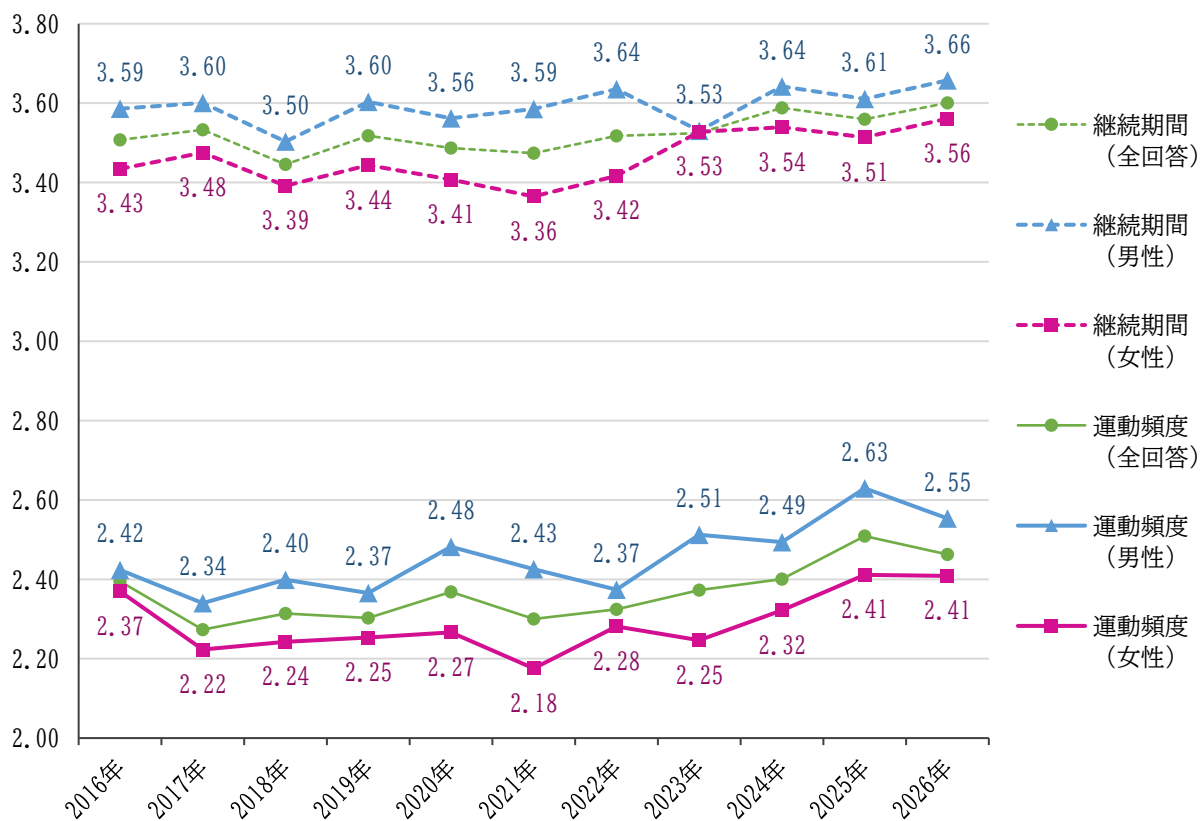
図 22：運動の継続期間



問 20 と問 21 の、過去 10 年間の全回答及び男女別の回答平均値の推移は、図 23 のとおりである。

これまでの調査を通じて、運動の頻度もその継続期間も、女性より男性の回答平均値のほうが高い傾向が続いているが、今回調査では運動の頻度、継続期間ともに男女間で統計的に有意な差は認められなかった（運動の頻度： $p = 0.095$ 、継続期間： $p = 0.122$ ）。

図 23：健康維持・増進のための運動頻度と運動の継続期間（回答平均値の推移）



(4) 問 22『あなたは1年前と比べて、「歩くこと」など体を動かす健康づくりをする回数に変化はありますか』

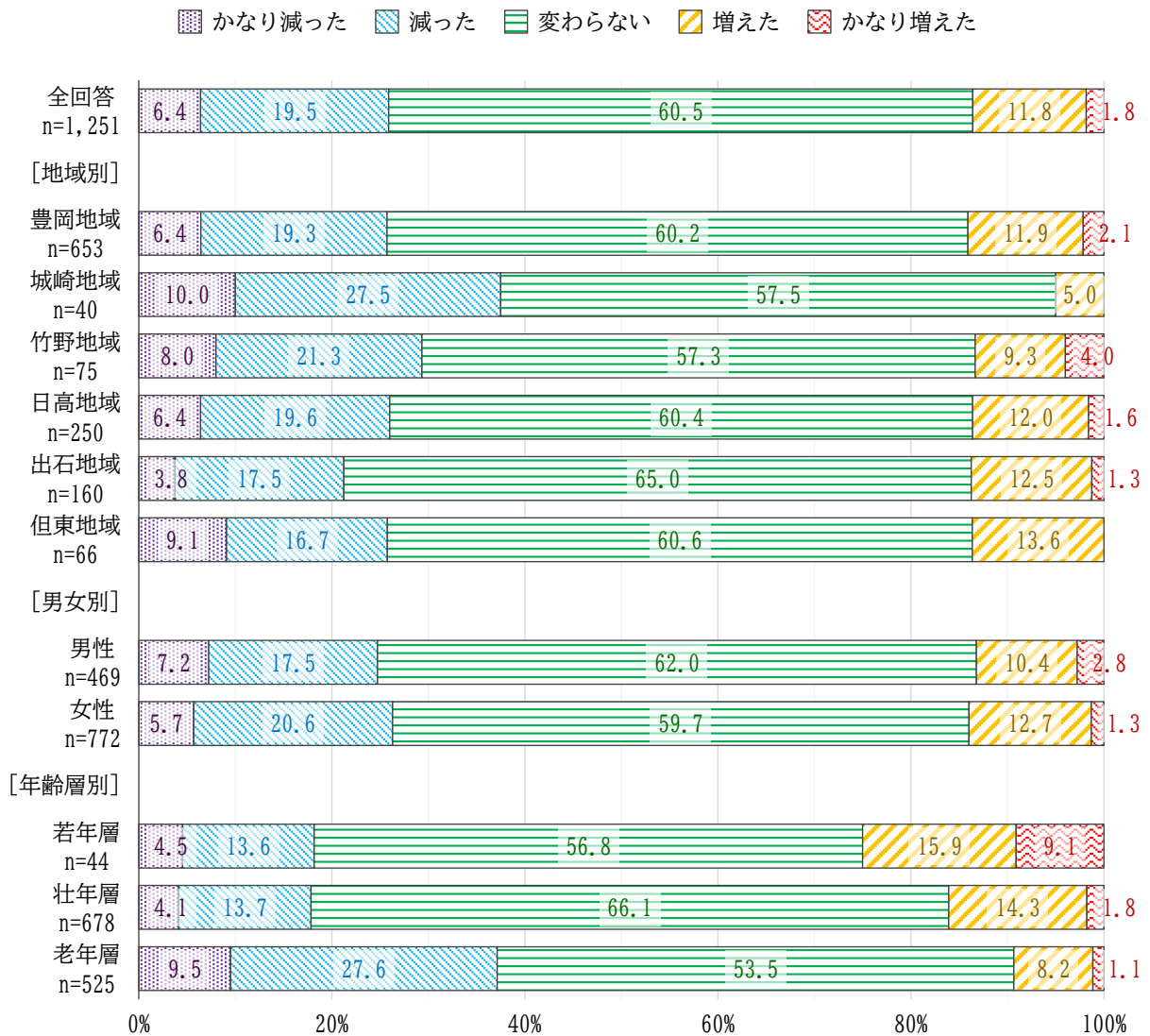
これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 16 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

表 16：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.83
2025 年調査	2.84
2024 年調査	2.79

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 24 のとおりである。  
 すべての属性で「変わらない」の回答が最も多くなっている。

図 24：1年前と比べて体を動かす回数に変化はあったか

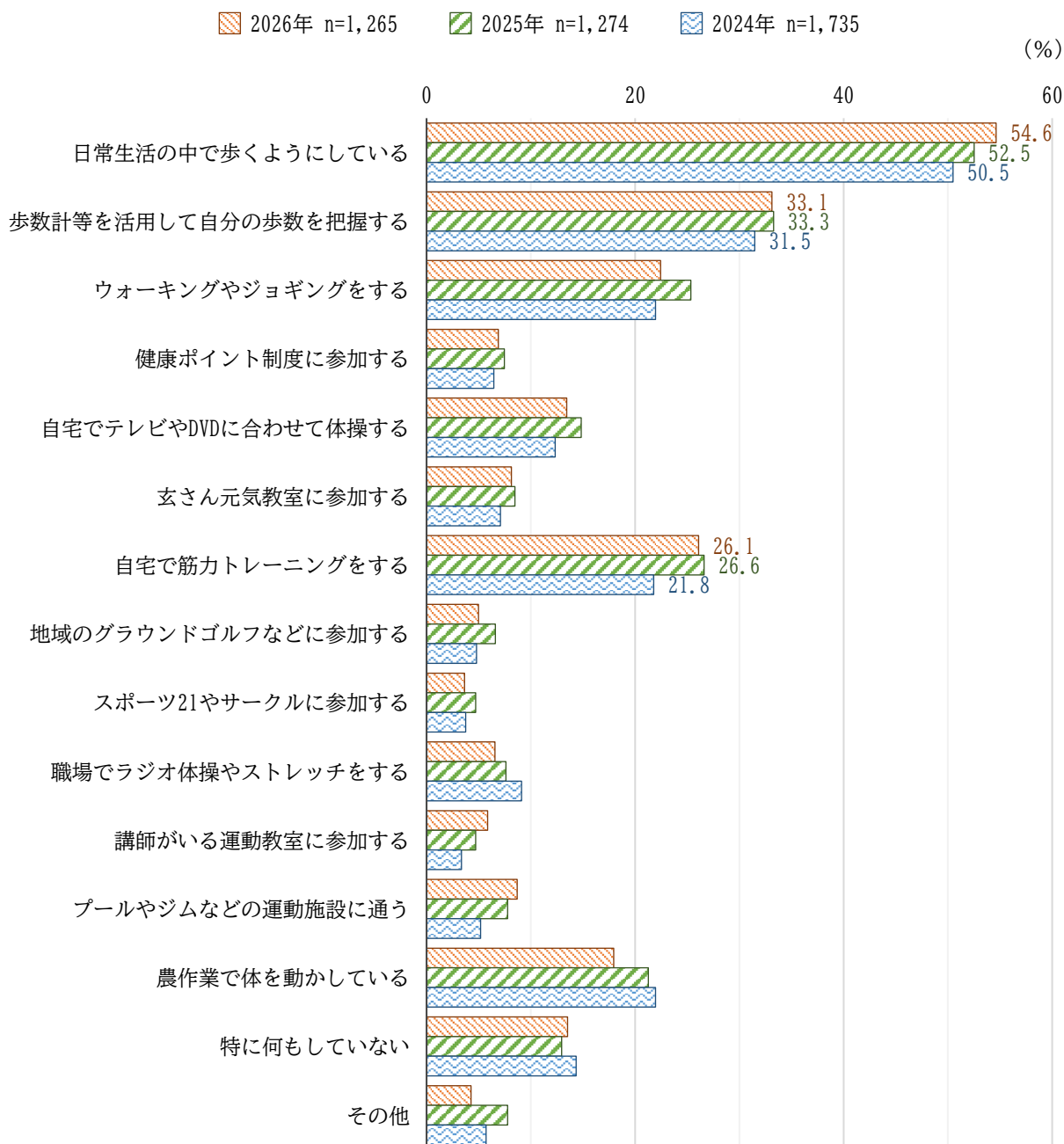


(5) 問 23『あなたは体を動かさず健康づくりとして、どのようなことを実践していますか』(複数回答可)

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図 25 のとおりである。

今回調査で多く選択された項目は、「日常生活の中で歩くようにしている」(52.5%)、「歩数計等を活用して自分の歩数を把握する」(33.3%)、「自宅で筋力トレーニングをする」(26.6%) などである。

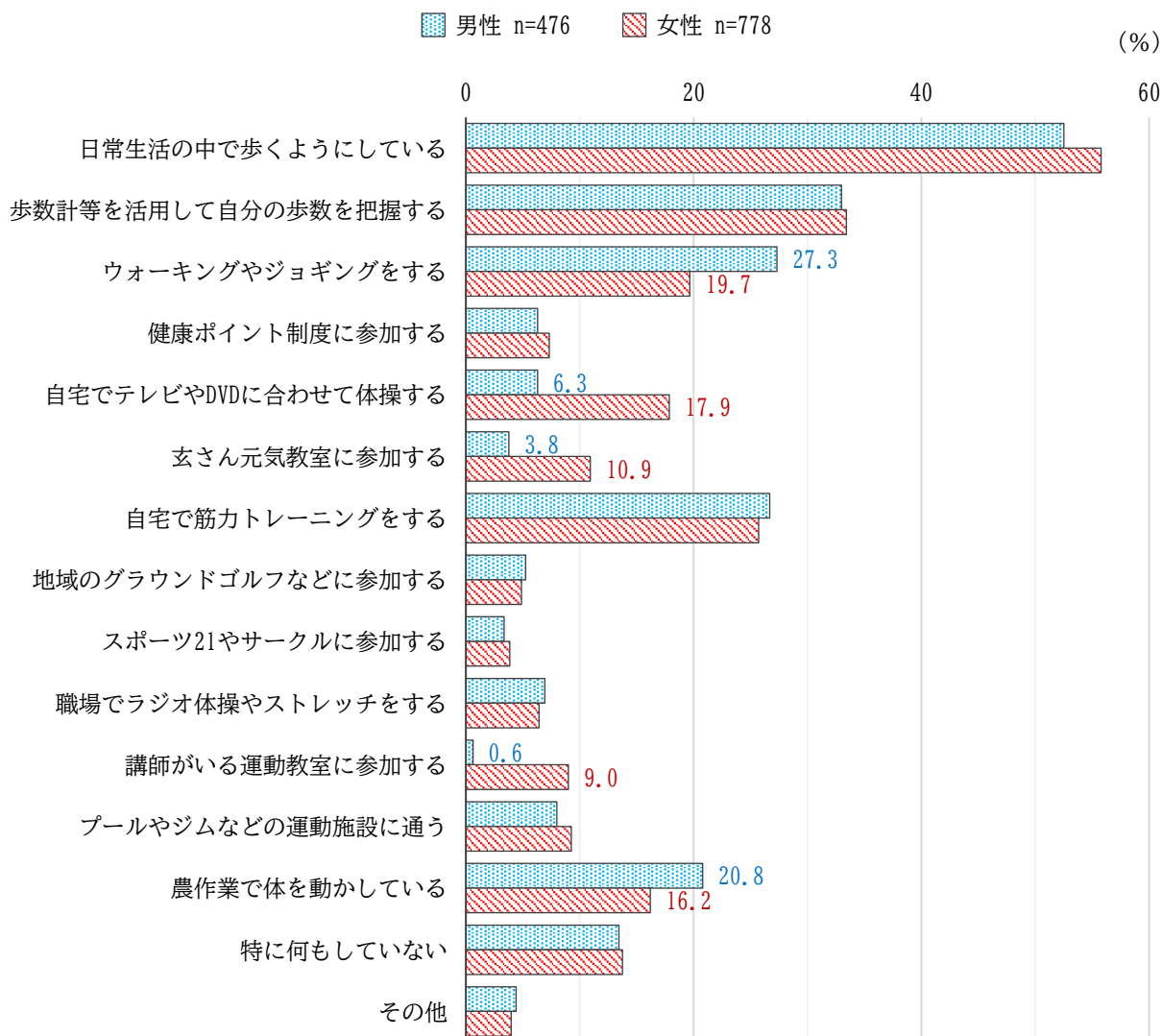
図 25：健康づくりとして実践していること (全回答)



「その他」として複数の回答があったものは、「職場での業務で体を動かしている」、「ラジオや防災行政無線でのラジオ体操」、「自転車や徒歩で通勤する」などである。

今回調査における、問 23 の男女別の集計結果は、図 26 のとおりである。

図 26：健康づくりとして実践していること（男女別）



男女間で、「実践している」と回答した割合に統計的に有意な差があるかどうかを調べるため、カイ二乗検定を行った。結果は以下のとおりである。

<男性のほうが有意に回答割合が高い項目>

- ・ウォーキングやジョギングをする ( $p = 0.002$ )
- ・農作業で体を動かしている ( $p = 0.039$ )

<女性のほうが有意に回答割合が高い項目>

- ・自宅でテレビやDVDに合わせて体操する ( $p < 0.001$ )
- ・玄さん元気教室に参加する ( $p < 0.001$ )
- ・講師がいる運動教室に参加する ( $p < 0.001$ )

これまでの調査を通じて、おおむねこれらの項目で男女間の回答割合に有意な差が見られる傾向にある。

## 6 公共交通について（問 24～問 27）

### (1) 問 24『あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることがありますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 17 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

表 17：調査年ごとの回答平均値

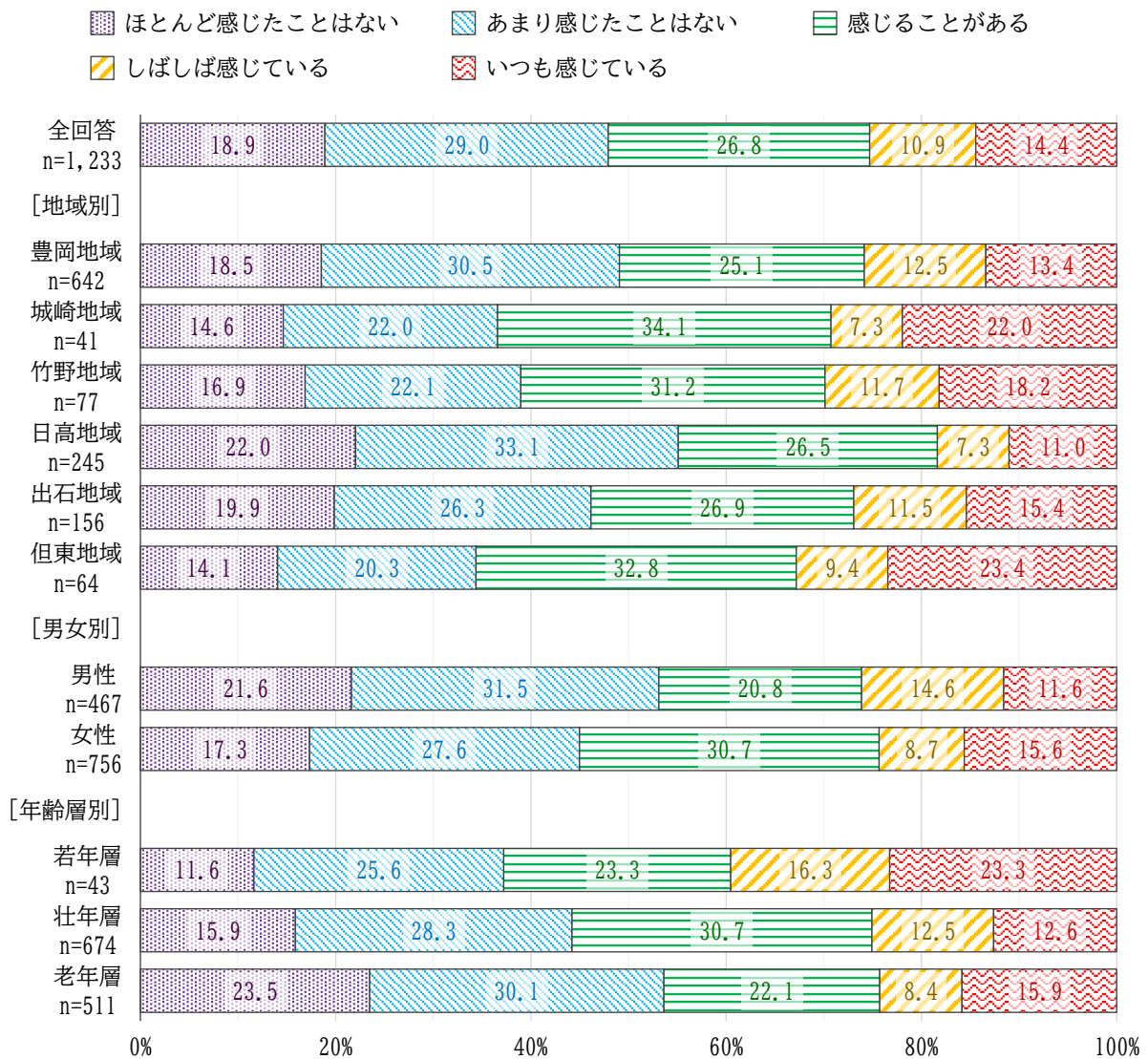
2026 年調査	2.73
2025 年調査	2.75
2024 年調査	2.75

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 27 のとおりである。

地域別に見ると、日高地域では外出の際の移動手段について不便に感じている人が比較的に少ないようである。

年齢層別では、10 代及び 20 代の若年層で不便に感じている人が多いことがわかる。

図 27：外出の際の移動手段に不便を感じるかどうか



(2) 問 25『あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか』(利用頻度の高い順に3つまで回答可)

これまでの調査における、全回答数に占める各項目の回答割合は、図 28 のとおりである。

「マイカー」の回答割合が31.6%で最も高くなっている。また、「最も頻度が高い」として「マイカー」を選択した割合も77.5%と、ほかの移動手段よりも圧倒的に高くなっており(表 18)、本市では多くの人にとって「マイカー」が主要な移動手段となっていることがわかる。

図 28：日常生活での移動手段(全回答)

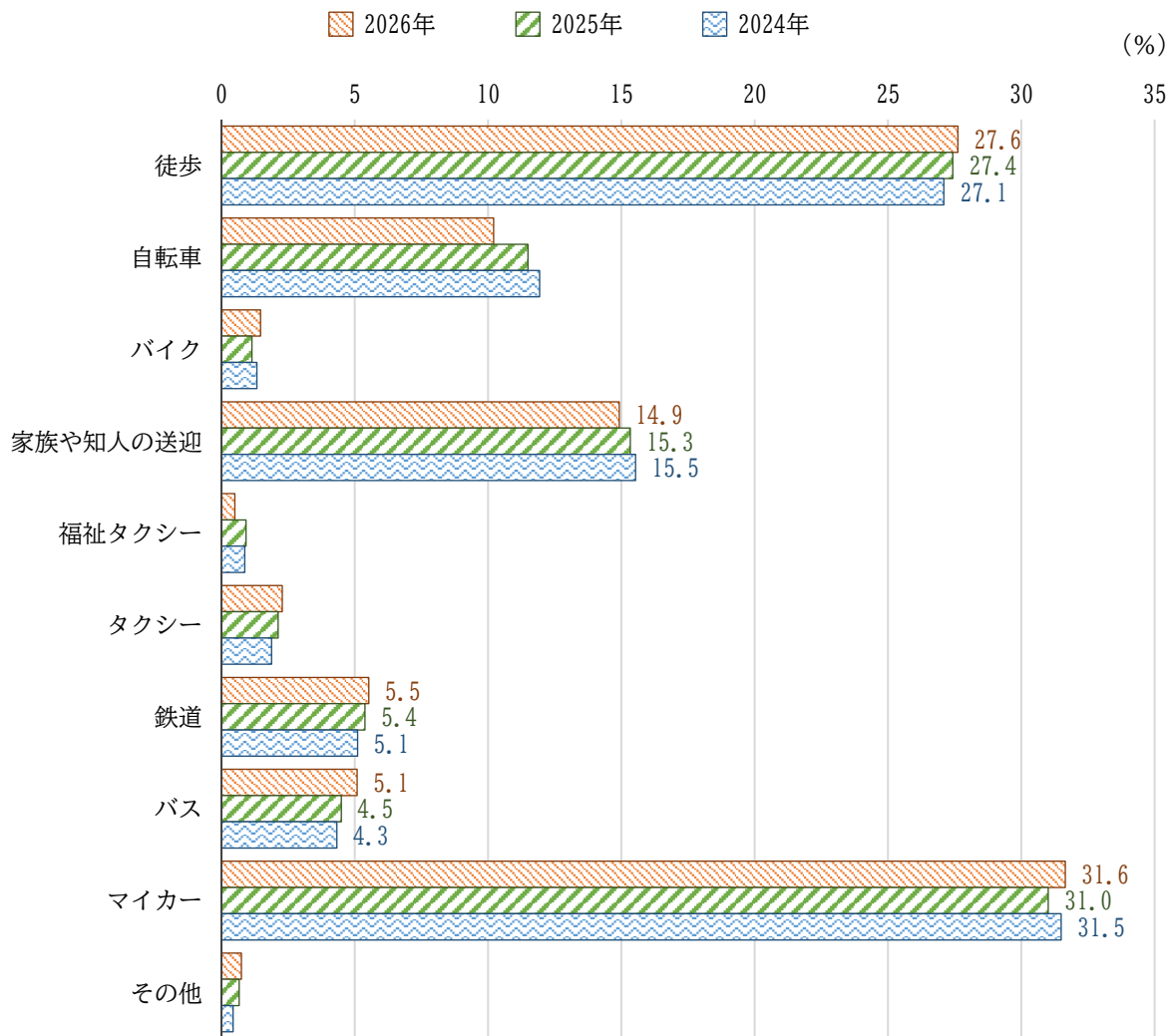


表 18：主な移動手段の利用頻度別集計(今回調査)

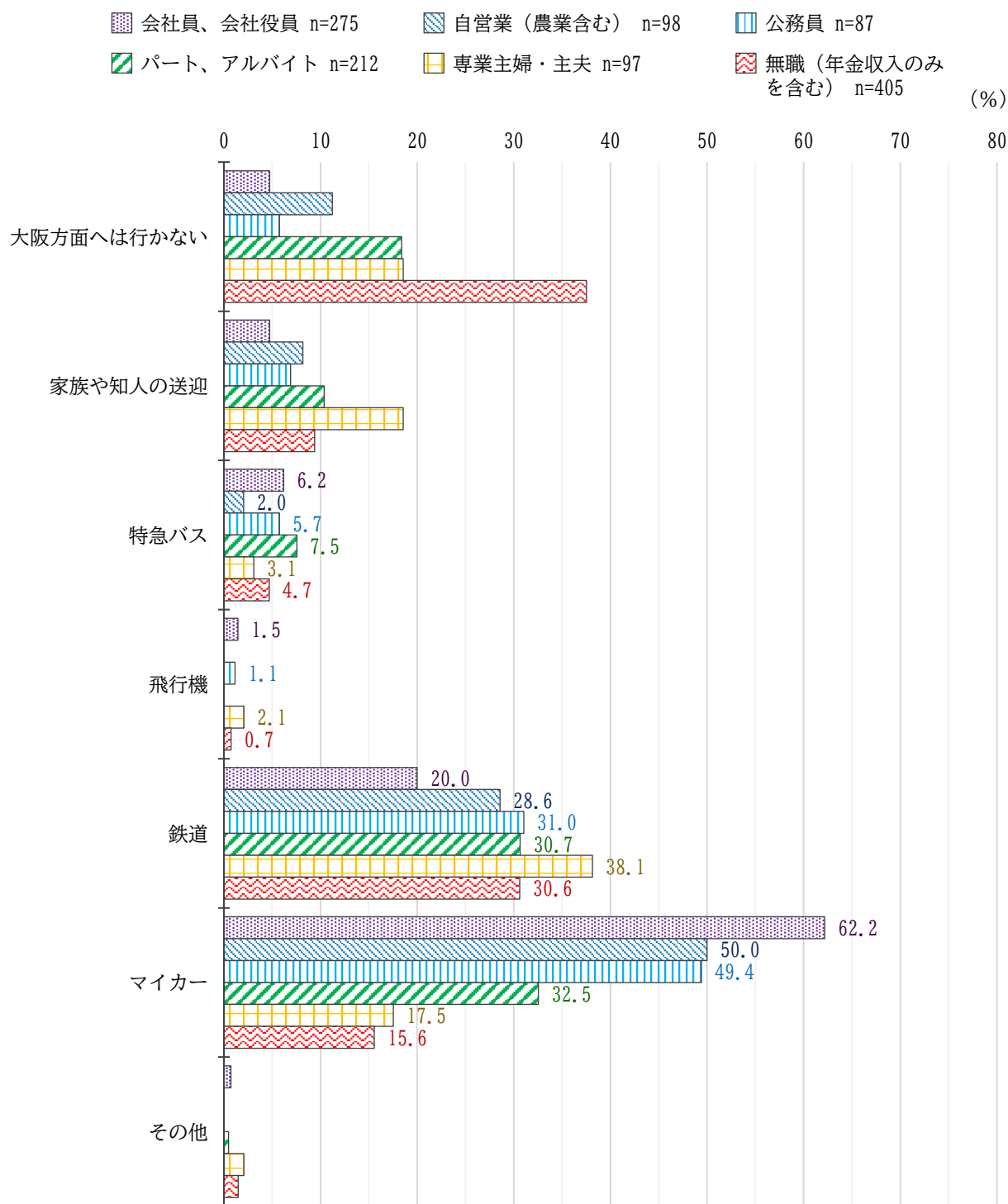
	最も頻度が高い	2番目に頻度が高い	3番目に頻度が高い	合計
徒歩	72人 (5.8%)	517人 (48.6%)	296人 (32.5%)	885人 (27.6%)
家族や知人の送迎	70人 (5.7%)	215人 (20.2%)	193人 (21.2%)	478人 (14.9%)
鉄道	3人 (0.2%)	59人 (5.6%)	115人 (12.6%)	177人 (5.5%)
バス	19人 (1.5%)	45人 (4.2%)	99人 (10.9%)	163人 (5.1%)
マイカー	954人 (77.5%)	48人 (4.5%)	12人 (1.3%)	1,014人 (31.6%)

(3) 問 26『あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』(当てはまるもの1つのみ回答)

今回調査における、職業別の全回答数に占める各項目の回答割合は、図 29 のとおりである。

大阪方面への交通手段として主に利用されているのは「マイカー」と「鉄道」であるが、会社員や自営業、公務員では、「鉄道」よりも「マイカー」を利用している人のほうが多いことがわかる。

図 29：大阪方面へ移動する際の主な交通手段（職業別）

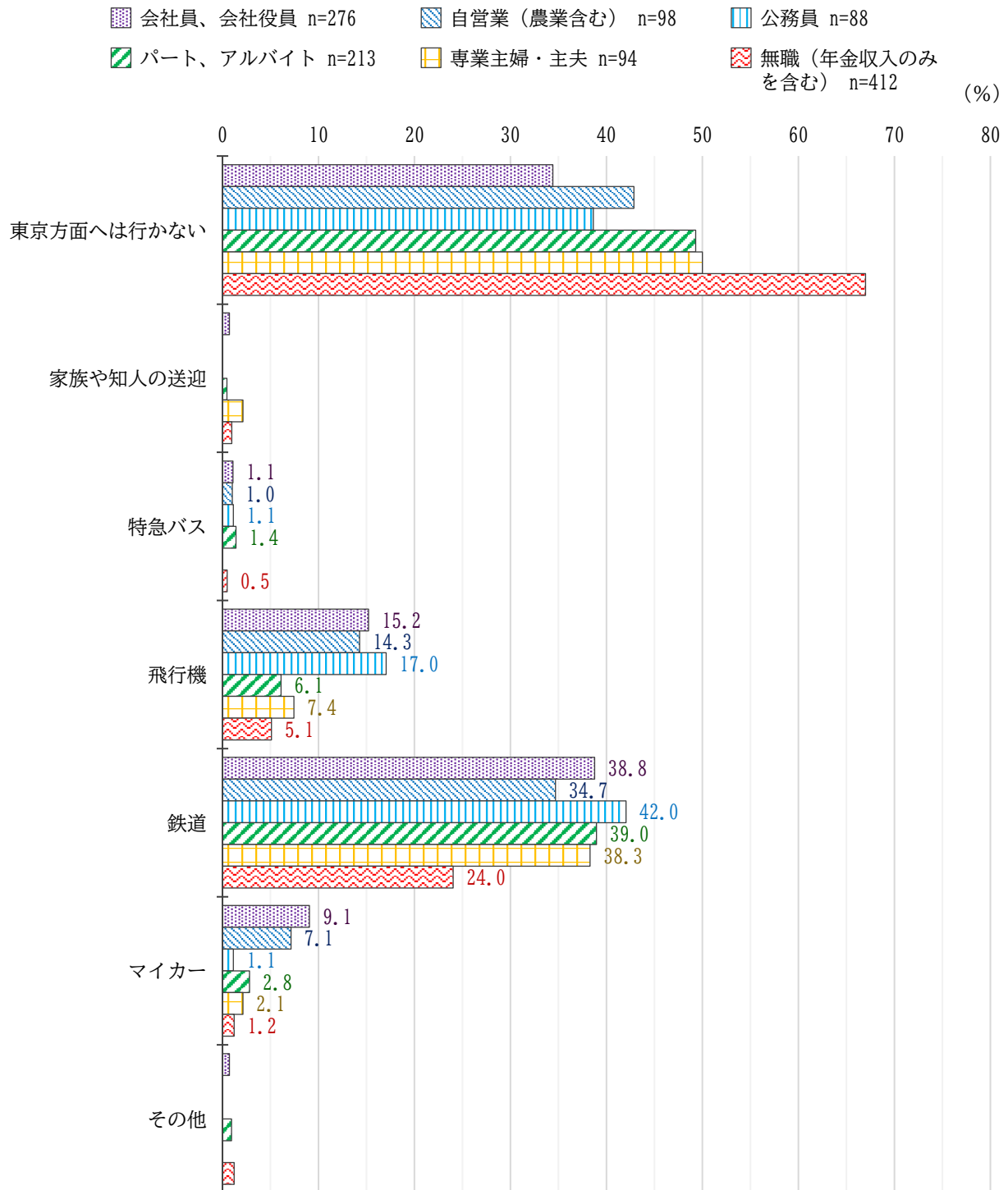


※回答数の少ない「学生」、「NPO、NGO」及び「その他」を除いている

(4) 問 27『あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』(当てはまるもの1つのみ回答)

今回調査における、職業別の全回答数に占める各項目の回答割合は、図 30 のとおりである。  
 大阪方面と比べると、東京方面へは職業にかかわらず「飛行機」の利用割合が高くなっていることがわかる。

図 30：東京方面へ移動する際の主な交通手段（職業別）



※回答数の少ない「学生」、「NPO、NGO」及び「その他」を除いている

## 7 地域の歴史、伝統、文化芸術について（問 28～問 33）

### (1) 問 28『あなたは、地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 19 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

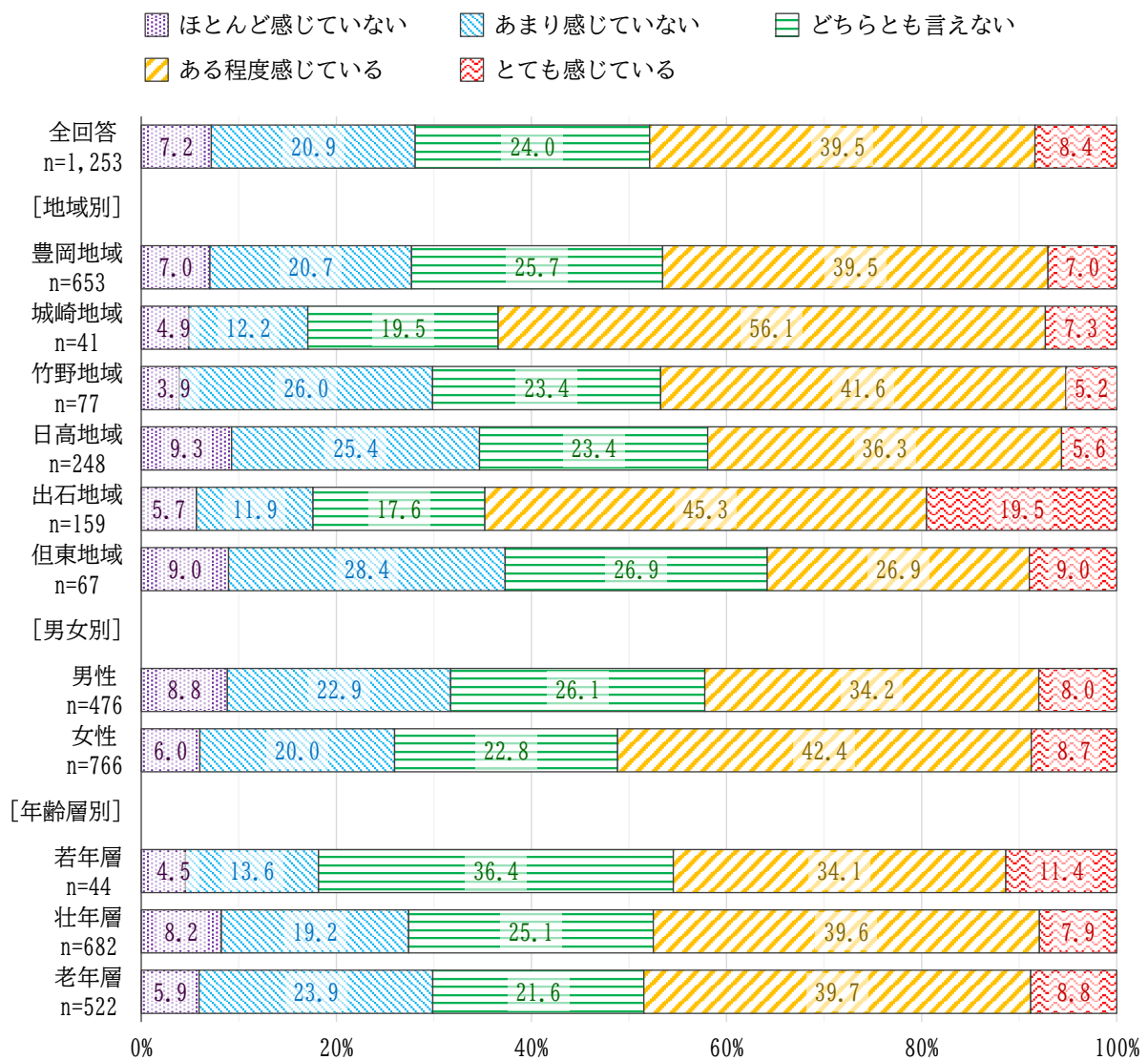
表 19：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.21
2025 年調査	3.14
2024 年調査	3.18

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 31 のとおりである。

歴史ある温泉街のある城崎地域や、城下町の町並みの残る出石地域で、肯定的な回答が特に多くなっていることがわかる。出石地域では、「とても感じている」の回答割合が、ほかの地域と比べて 10 ポイント以上高くなっている。

図 31：地域の歴史、伝統、文化を誇りに感じるか

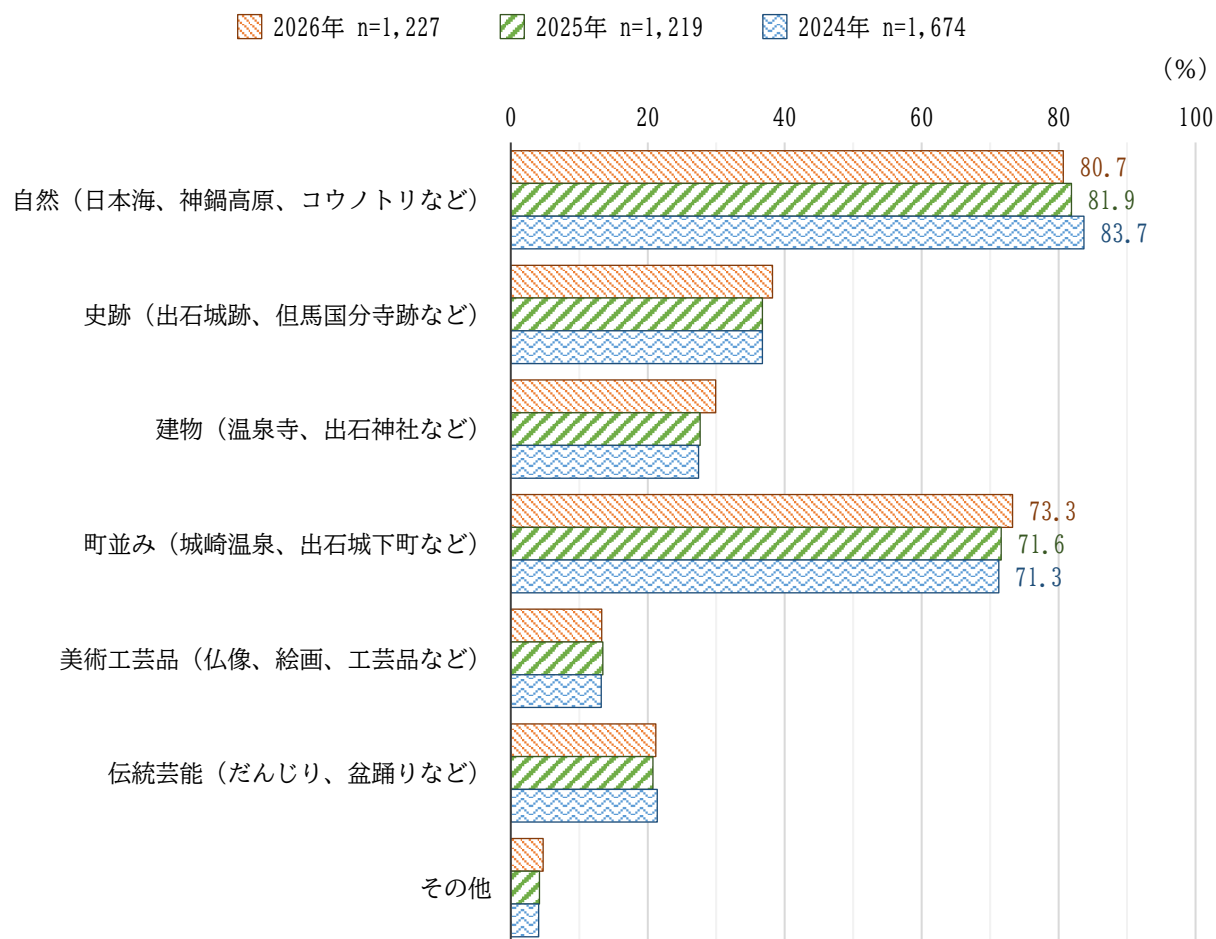


(2) 問 29『あなたは、次の中で豊岡市の誇りだと感じているものがありますか』（複数回答可）

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図 32 のとおりである。

「自然」及び「町並み」の割合が、ほかの項目に比べ高くなっている。

図 32：豊岡市の誇りだと感じている具体的な対象（全回答）



(3) 問 30『あなたは、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって、豊岡の歴史、伝統、文化の素晴らしさに気付かされたことはありますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 20 のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p < 0.001$ ）、市外の人やメディアなどの評価から、豊岡の素晴らしさに気付かされることのある市民は増えていると言える。

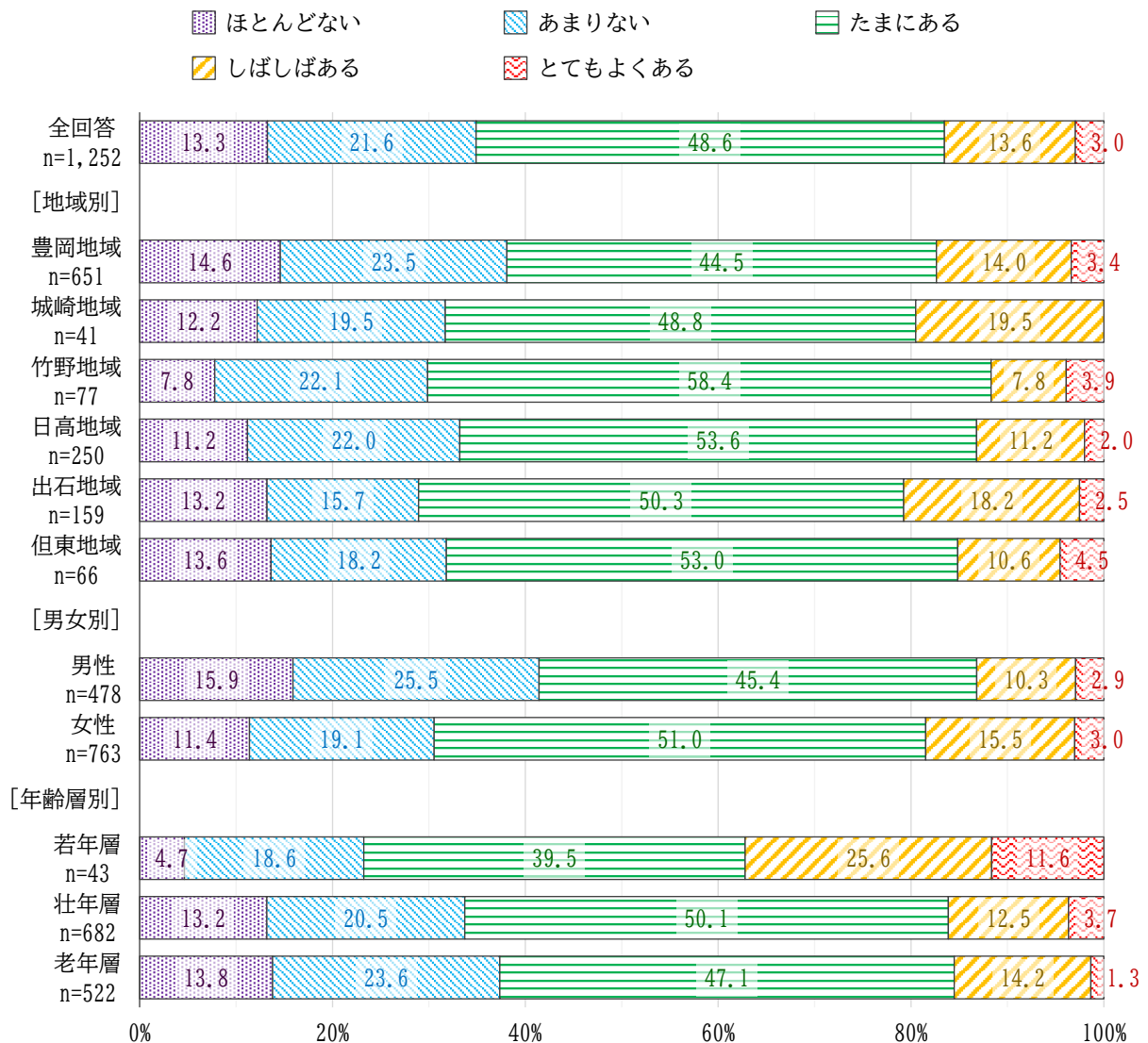
表 20：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.71
2025 年調査	2.57
2024 年調査	2.55

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 33 のとおりである。

年齢層別の結果に特徴的な差が出ており、若年層では「しばしばある」「とてもよくある」の回答割合が特に高くなっている。地域別では、豊岡地域、城崎地域及び出石地域で、同回答割合がほかの 3 地域に比べてやや高くなっている。

図 33：市外の人やメディアなどの評価から豊岡の素晴らしさに気付かされることはあるか



#### (4)問 31 『あなたは、豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 21 のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p = 0.002$ ）、「豊岡市は文化芸術の盛んなまちだ」と思う市民は増えていると言える。

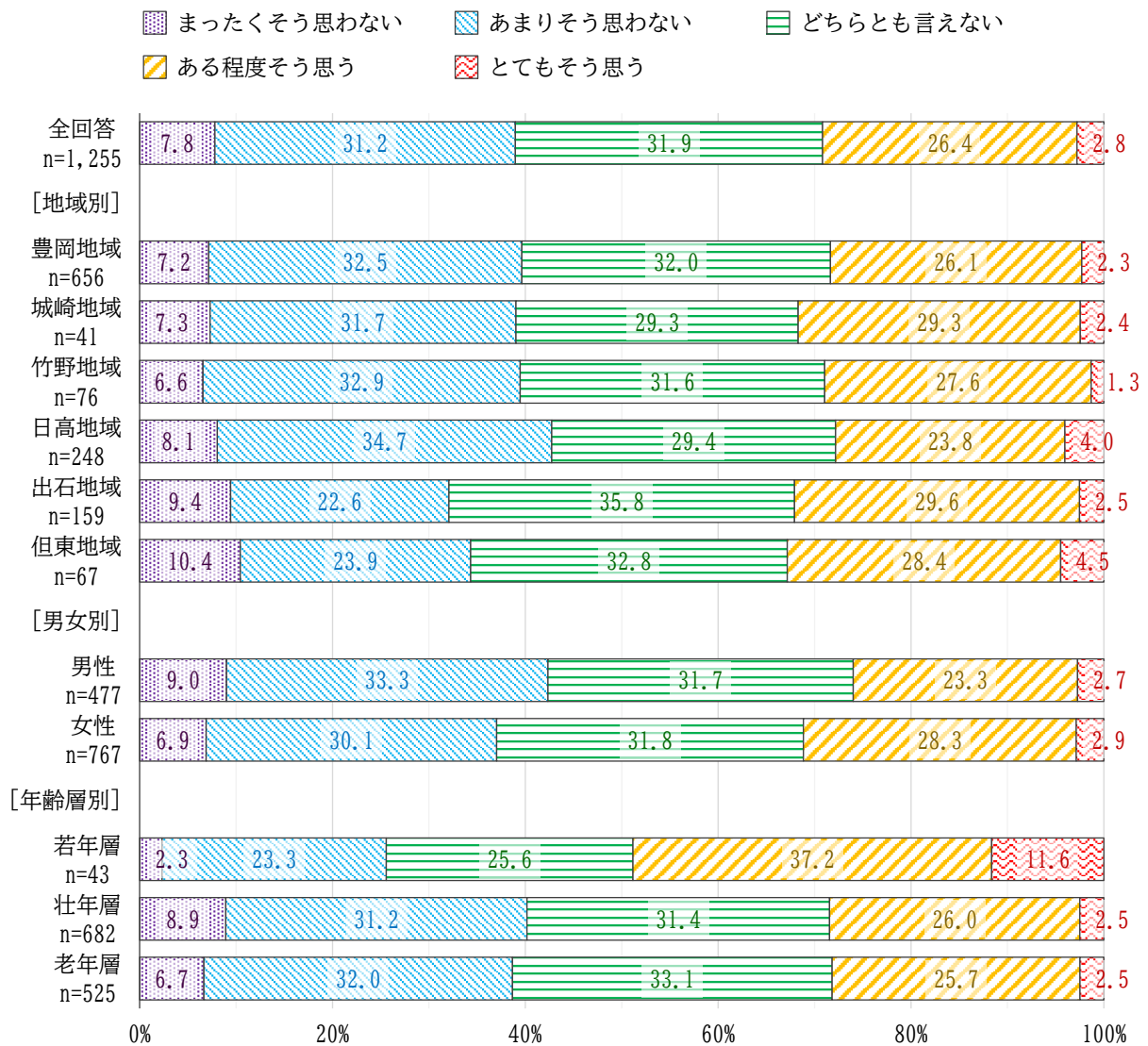
表 21：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.85
2025 年調査	2.73
2024 年調査	2.72

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 34 のとおりである。

問 30 と同様に年齢層別の結果に特徴的な差が出ており、若年層で「ある程度そう思う」と「とてもそう思う」の合計が 48.8%と、ほかの年齢層に比べて肯定的な回答が特に多くなっていることがわかる。

図 34：豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思うか



(5) 問 32『あなたは、豊岡市を一流のアーティストが創作する舞台芸術や芸術作品など、質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 22 のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p = 0.006$ ）、「豊岡市は質の高い文化芸術に触れられる機会が多いまちだ」と思う市民は増えていると言える。

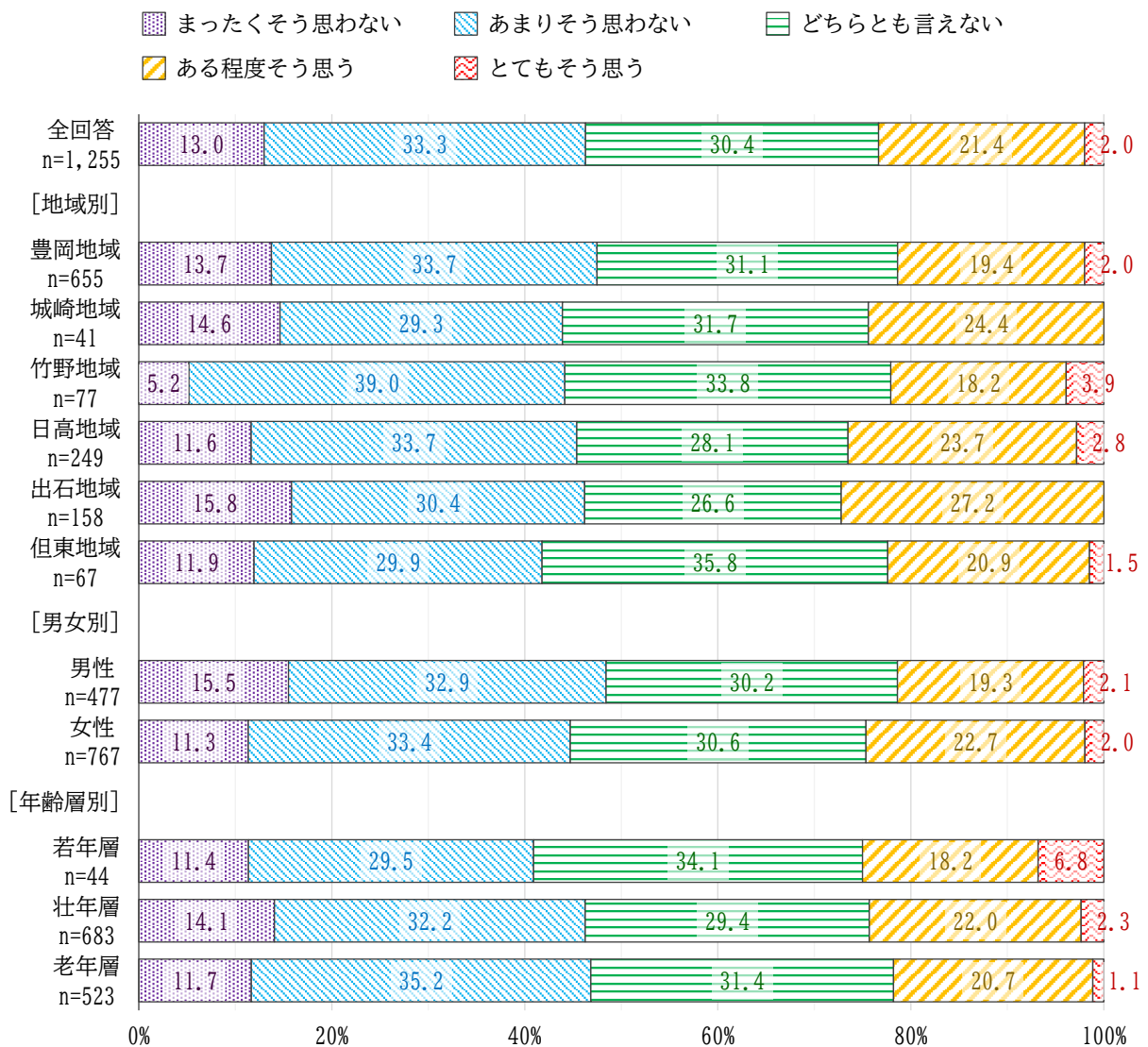
表 22：調査年ごとの回答平均値

2026年調査	2.66
2025年調査	2.55
2024年調査	2.54

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 35 のとおりである。

前回調査と比べると、竹野地域と但東地域で肯定的な回答が比較的大きく増加しており、竹野地域は 11.9%から 22.1%で 10.2 ポイントの増、但東地域は 11.4%から 22.4%で 11 ポイントの増となっている。

図 35：豊岡市を質の高い文化芸術に触れられる機会が多いまちだと思うか



(6) 問 33 『あなたは、豊岡市で活動するアーティストやクリエイターを応援したいと思いますか』

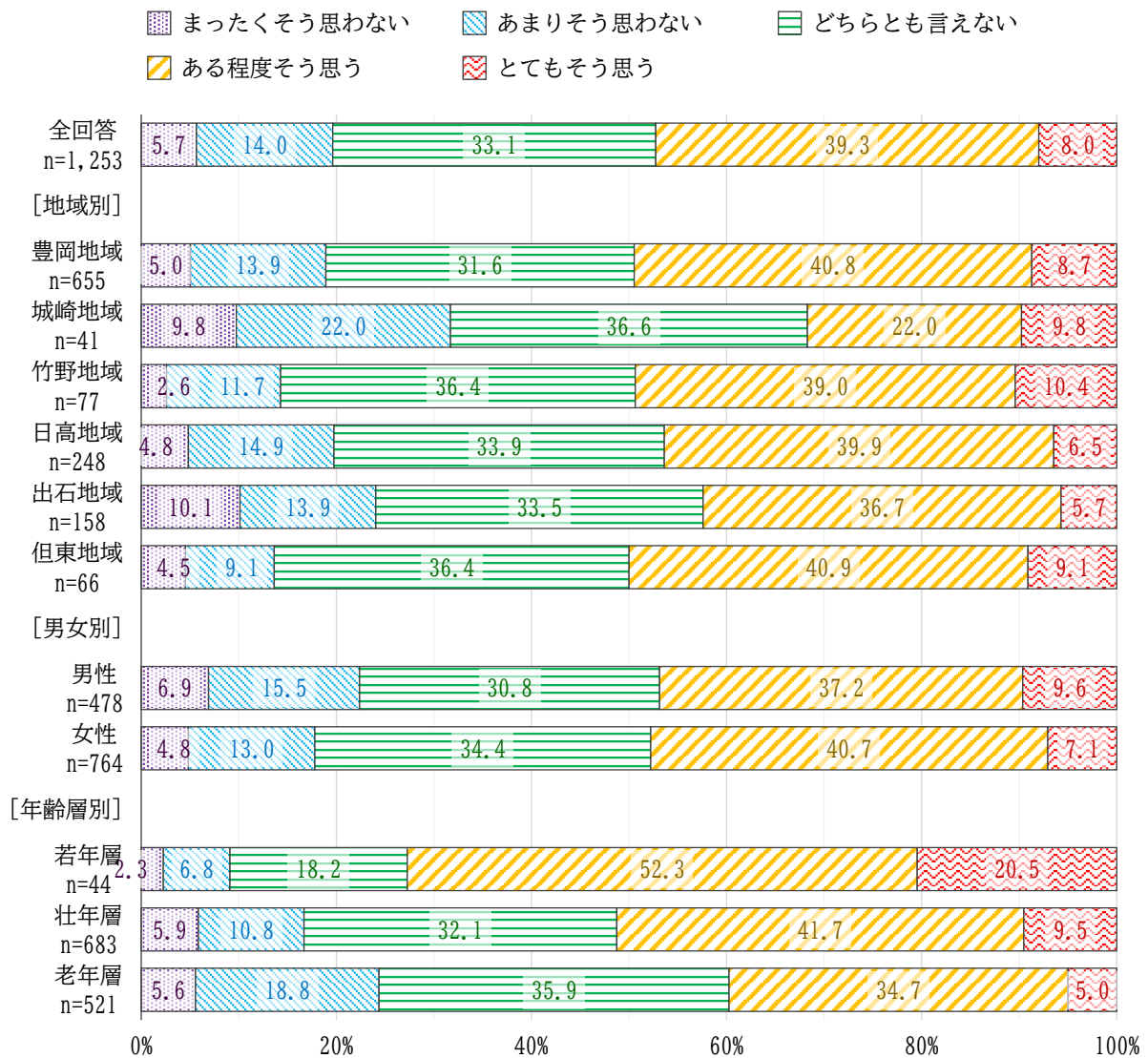
これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 23 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

表 23：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.30
2025 年調査	3.24
2024 年調査	3.27

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 36 のとおりである。  
 年齢層別の結果に特徴的な差が出ており、年齢が低いほど市内で活動するアーティスト等を応援したいと思っている人が多いことがわかる。特に若年層では「ある程度そう思う」と「とてもそう思う」の合計が72.8%と、突出して高くなっている。

図 36：豊岡市で活動するアーティスト等を応援したいと思いますか



## 8 防災について（問 34～問 39）

### (1) 問 34『あなたは、市民総参加訓練に参加していますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 24 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

表 24：調査年ごとの回答平均値

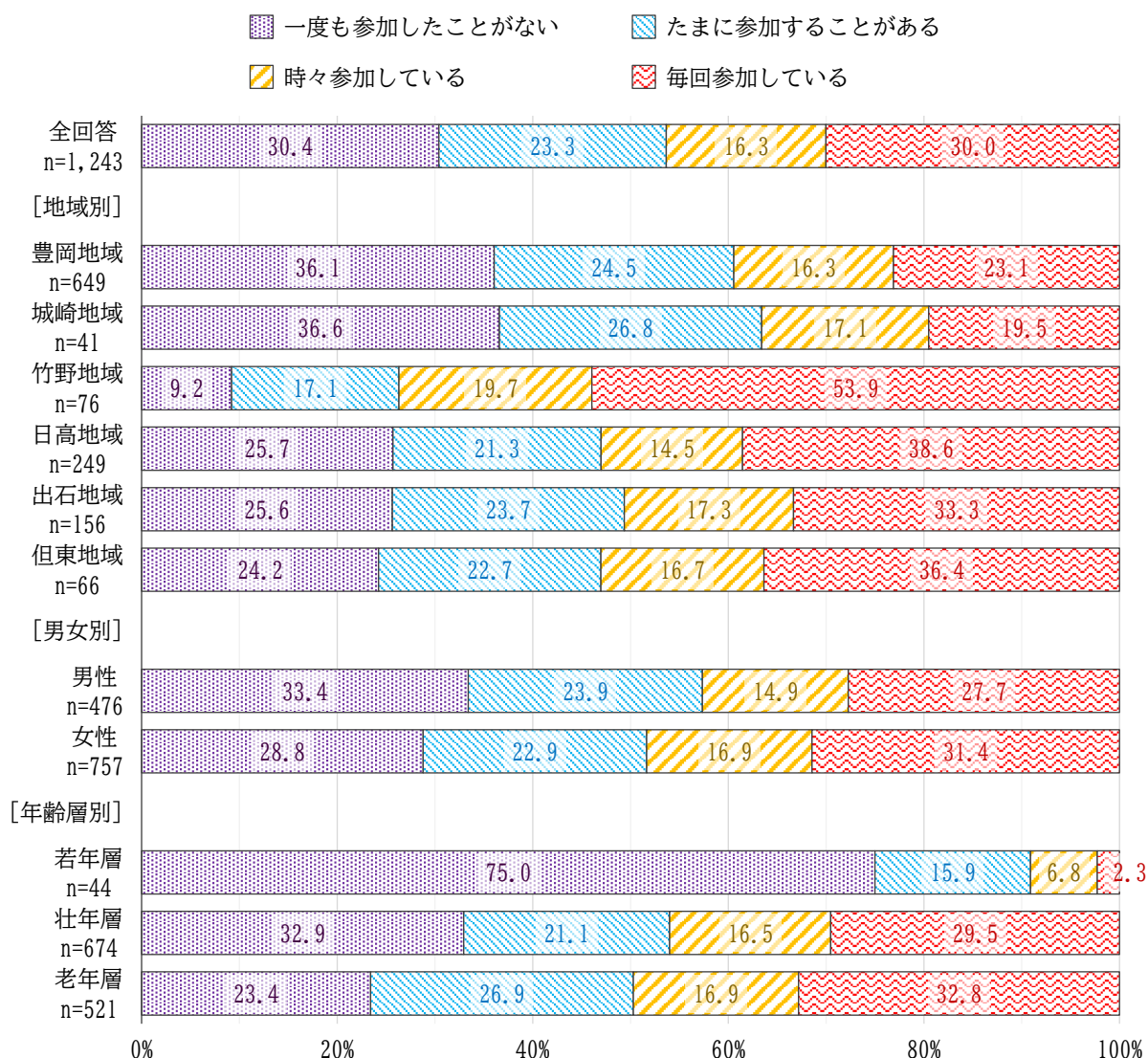
2026 年調査	2.46
2025 年調査	2.45
2024 年調査	2.57

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 37 のとおりである。

地域別では、豊岡地域と城崎地域で「一度も参加したことがない」の回答割合が特に高く、約 4 割となっている。一方、竹野地域では半数以上が「毎回参加している」と回答している。

また、年齢層別では、若年層で「一度も参加したことがない」の割合が 75.0%と、ほかの年齢層と比べて極めて高くなっている。

図 37：市民総参加訓練に参加しているか

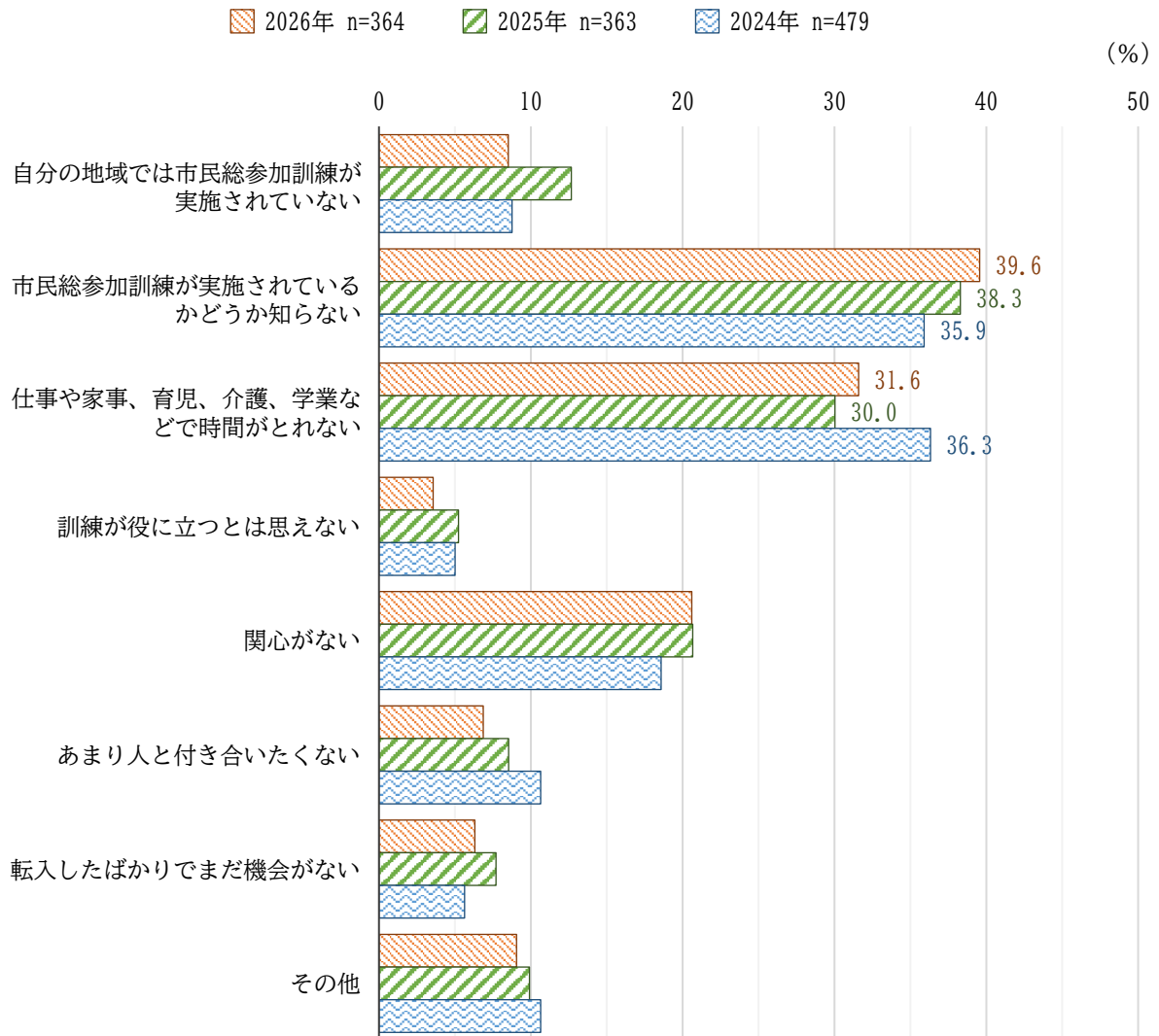


(2)問 35 『(問 34 で「一度も参加したことがない」と答えた方) 参加したことがないのはなぜですか (複数回答可)』

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図 38 のとおりである。

「市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない」及び「仕事や家事、育児、介護、学業などで時間がとれない」の回答が特に多くなっている。

図 38：市民総参加訓練に参加したことがない理由 (全回答)

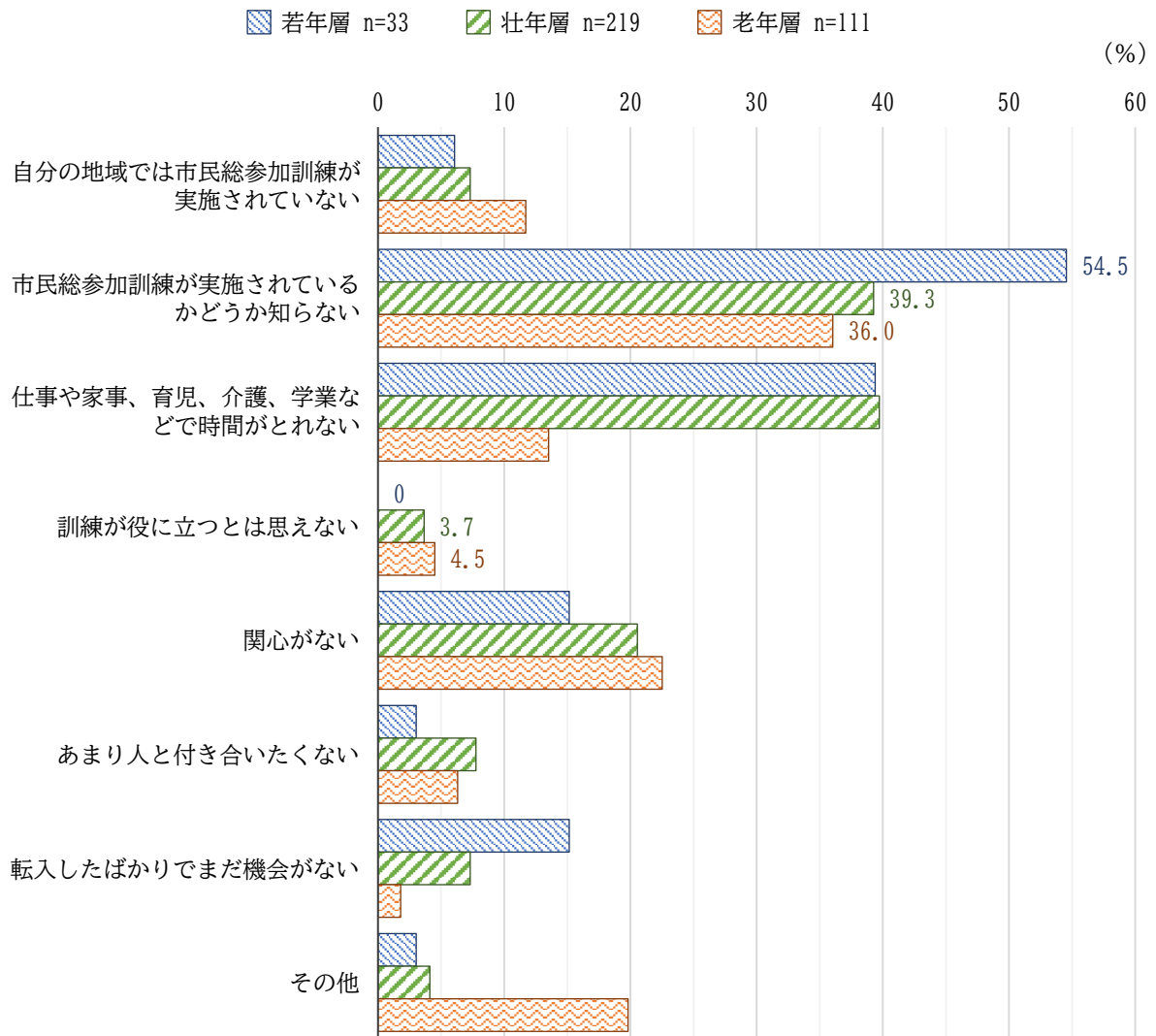


「その他」の自由記述では、「高齢だから」や「足腰の具合がよくない」といった年齢や健康に関する理由が多く挙がっていた。

今回調査における、問 35 の年齢層別の集計結果は、図 39 のとおりである。

年齢が低いほど「市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない」の割合が高くなっており、若年層では半数を超えている。一方で、「訓練が役に立つとは思えない」は、各年齢層ともそれほど高くはないことがわかる。

図 39：市民総参加訓練に参加したことがない理由（年齢層別）



(3) 問 36『あなたは、災害が発生したとき、自分自身の身を守る行動がとれると思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 25 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

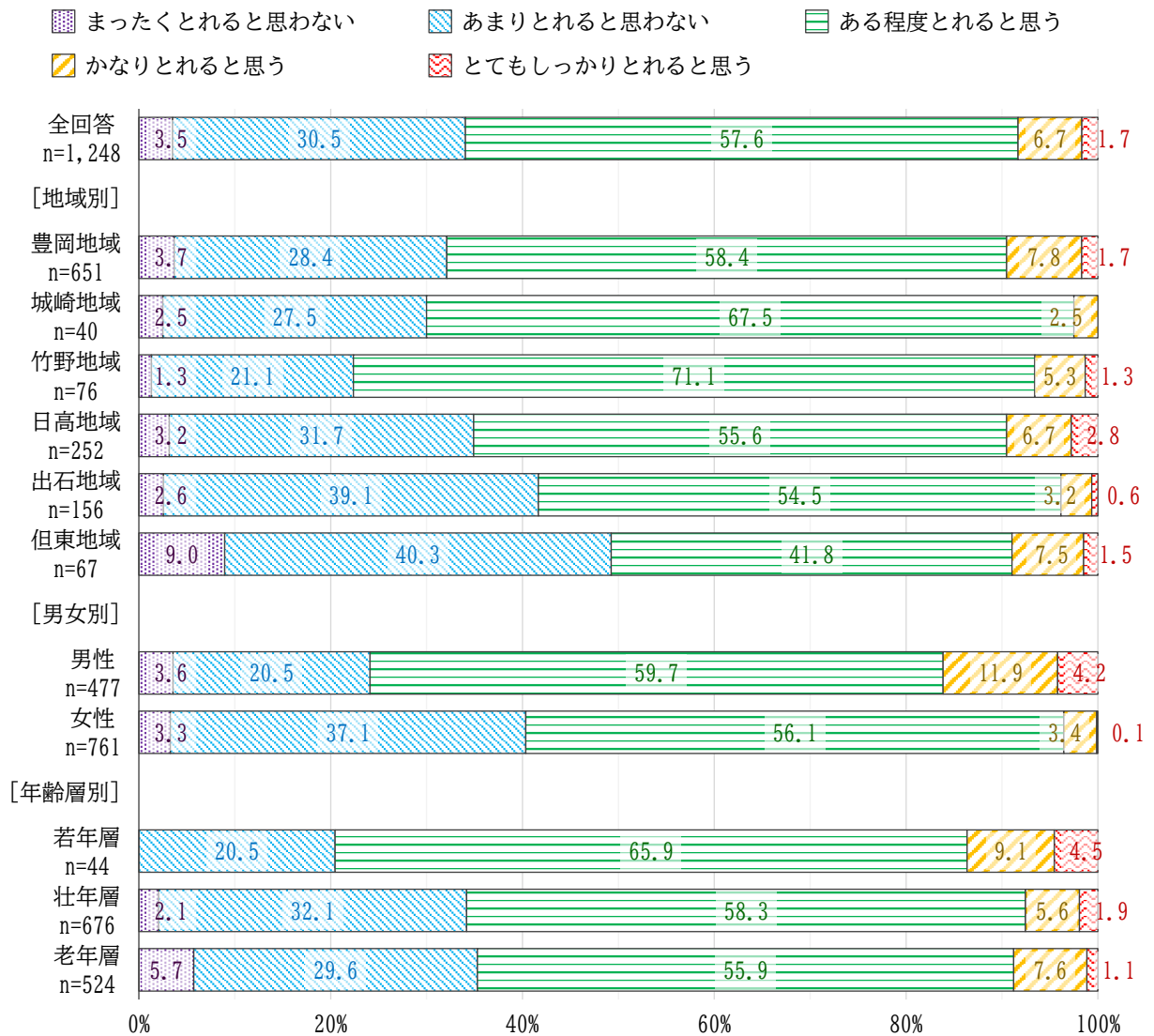
表 25：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.72
2025 年調査	2.70
2024 年調査	2.71

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 40 のとおりである。

男女別の結果に特徴的な差が出ており、男性よりも女性のほうが、災害時に自分自身の身を守る行動に自信がない人が多いことがわかる。

図 40：災害時に自分自身の身を守る行動がとれると思うか



市民総参加訓練への参加頻度と災害時に身を守る行動がとれると思うかの関係性を見るため、問 34 と問 36 の回答結果から、表 26 のとおりクロス集計表を作成した。

災害時に身を守る行動を、「まったくとれると思わない」「あまりとれると思わない」の回答割合は、おおむね訓練への参加頻度が少ないほど増加する関係性にあることがわかる。

表 26：「訓練に参加したことがあるか」と「身を守る行動がとれると思うか」のクロス集計

(人数/割合)

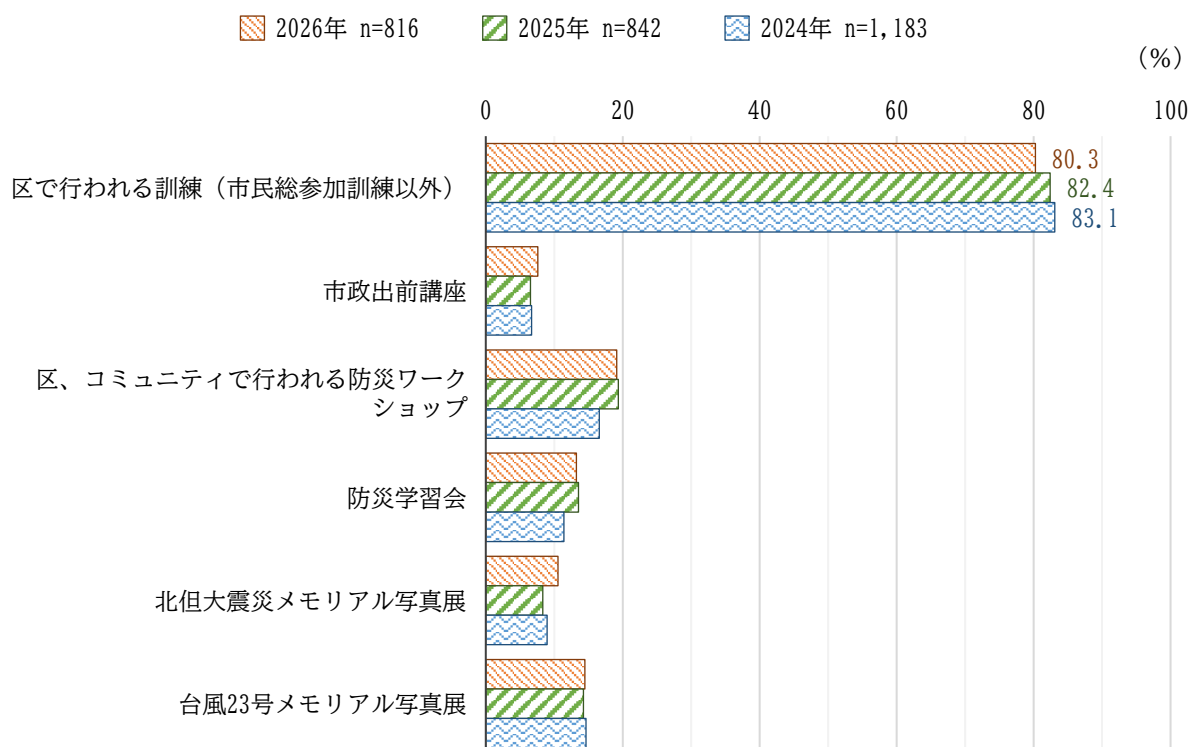
訓練への参加	身を守る行動	まったくとれると思わない	あまりとれると思わない	ある程度とれると思う	かなりとれると思う	とてもしっかりとれると思う	合計
一度も参加したことがない	人数	31	124	194	19	9	377
	割合	8.2	32.9	51.5	5.0	2.4	100
たまに参加することがある	人数	8	107	165	8	1	289
	割合	2.8	37.0	57.1	2.8	0.3	100
時々参加している	人数	2	62	124	10	4	202
	割合	1.0	30.7	61.4	5.0	2.0	100
毎回参加している	人数	2	85	231	46	7	371
	割合	0.5	22.9	62.3	12.4	1.9	100

#### (4) 問 37 『あなたは次の防災活動に参加したことがありますか』（複数回答可）

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図 41 のとおりである。

「区で行われる訓練（市民総参加訓練以外）」が8割以上と突出しており、ほかの防災活動への回答割合は2割以下にとどまっている。

図 41：参加したことがある防災活動（全回答）



(5) 問 38 『あなたは、以前に比べてあなたの地域での防災活動は活発に行われていると思いますか』

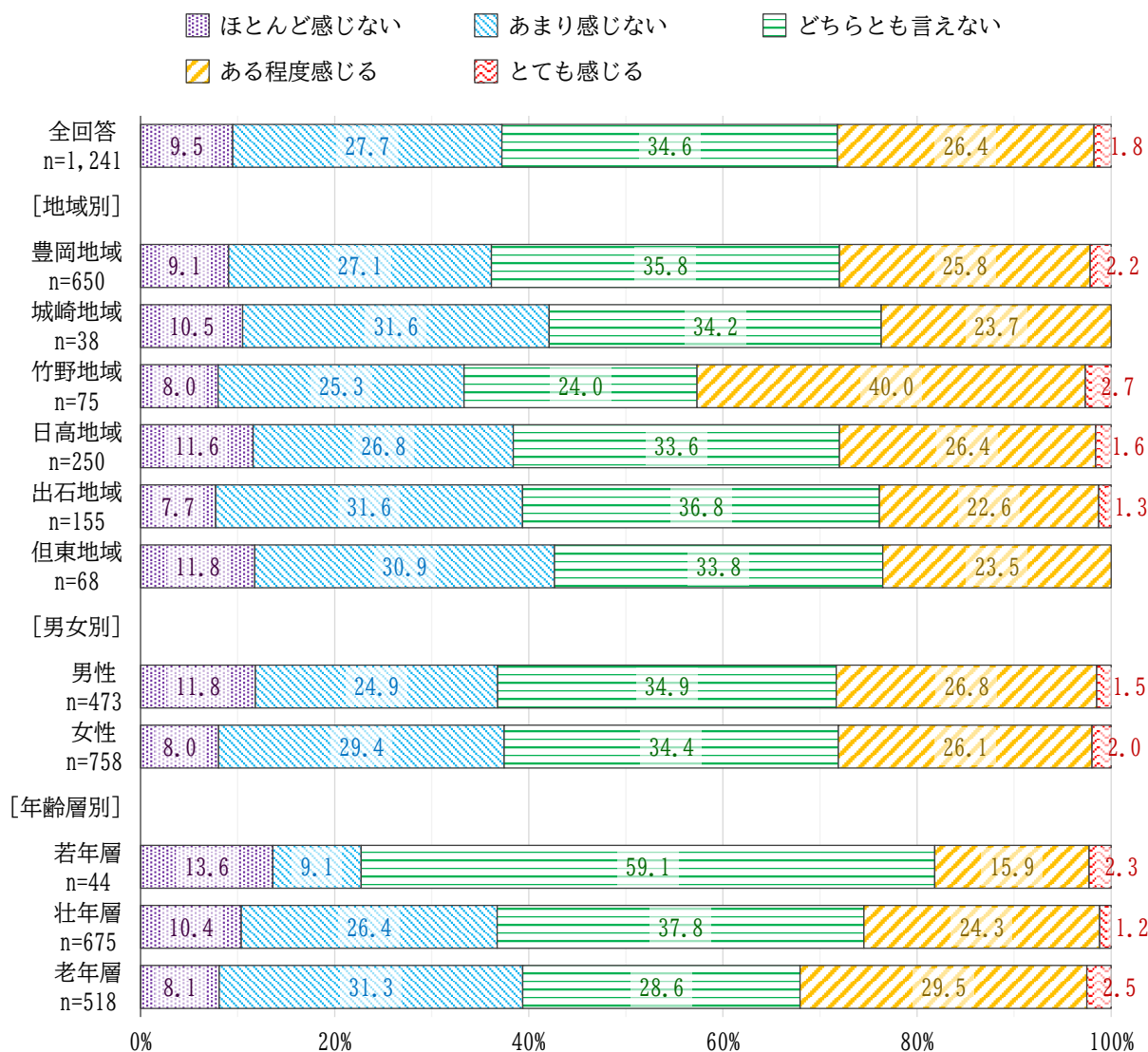
これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 27 のとおりである。  
 前回調査から有意な変化は見られない。

表 27：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.83
2025 年調査	2.77
2024 年調査	2.80

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 42 のとおりである。  
 地域別の竹野地域の肯定的な回答割合が 42.7%と、ほかの地域と比べて高くなっている。

図 42：以前に比べ地域での防災活動は活発に行われていると思うか

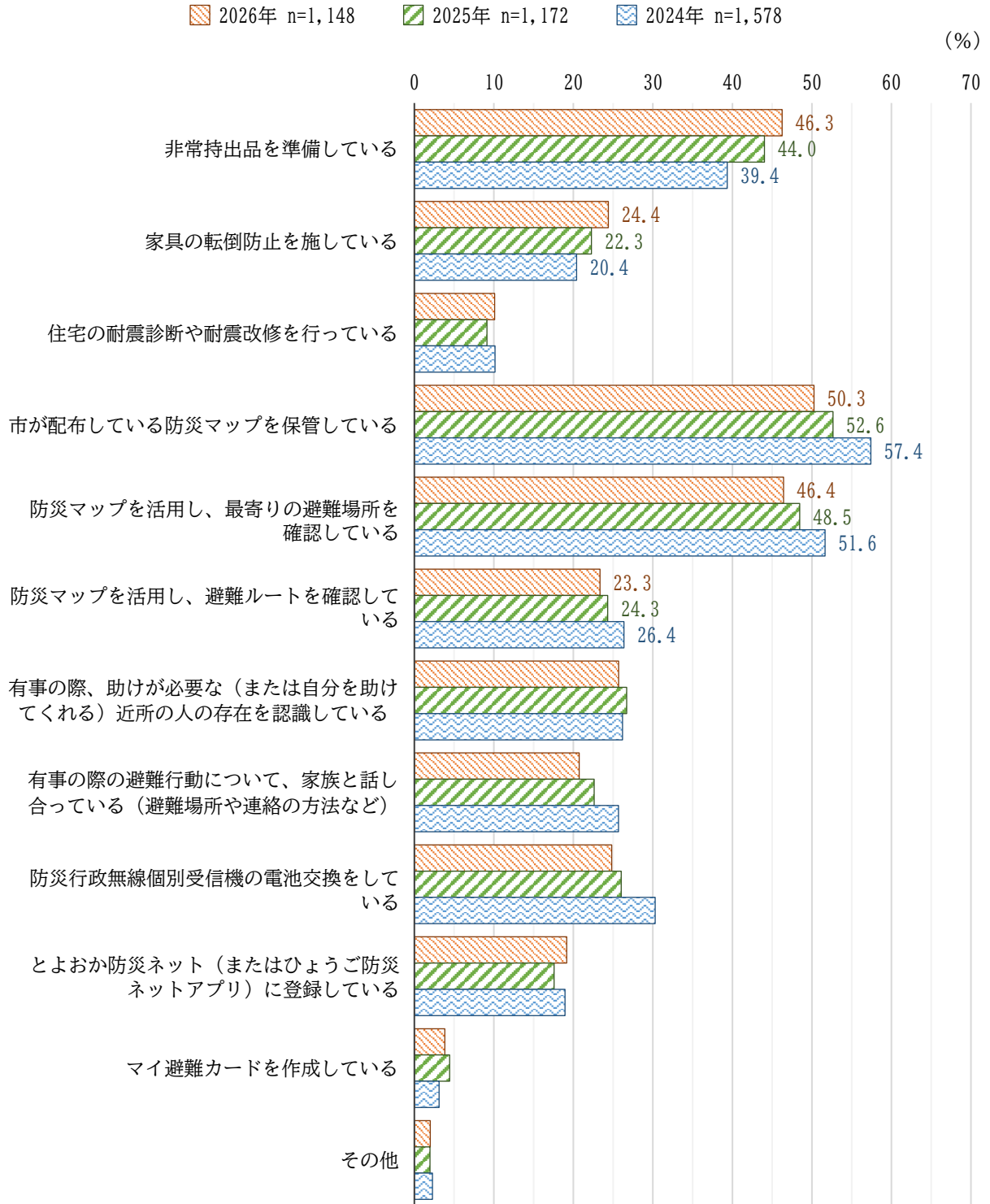


(6) 問 39 『あなたは災害に備えて次のことを実践していますか』(複数回答可)

これまでの調査における、各項目が選択された割合は図 43 のとおりである。

「非常持出品を準備している」と「家具の転倒防止を施している」を選択した割合が、3 調査続けて増加している。一方で、防災マップ関連の 3 項目の回答割合は、いずれも減少が続いている。

図 43：災害に備えて実践していること (全回答)



## 9 まちづくりと観光について（問 40～問 45）

### (1) 問 40『あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 28 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

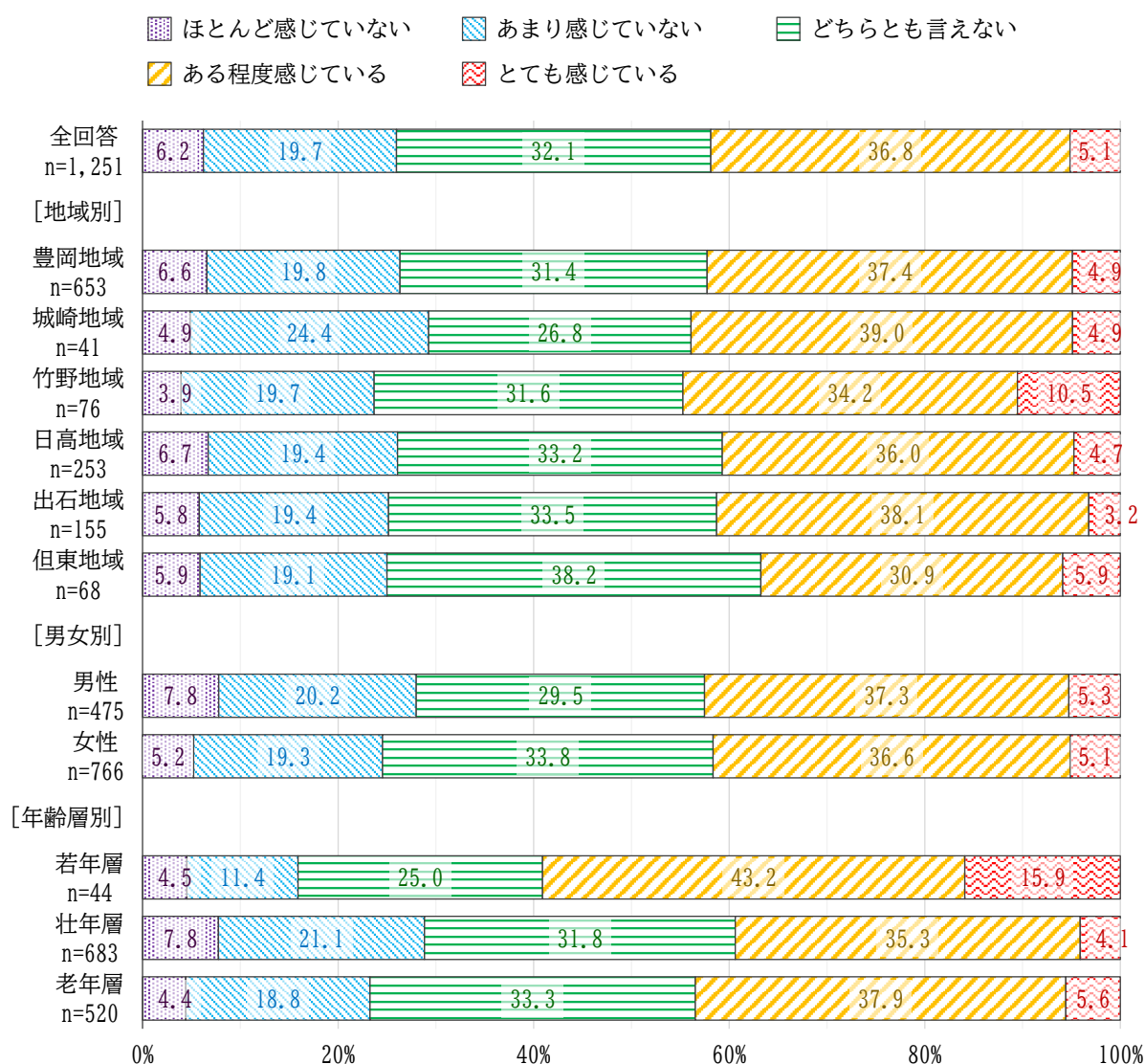
表 28：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.15
2025 年調査	3.15
2024 年調査	3.16

今回調査における選択肢ごとの回答割合は、図 44 のとおりである。

年齢層別に見ると、壮年層で最も否定的な回答が多く、肯定的な回答も少なくなっている。一方、若年層では肯定的な回答が多くなっており、「ある程度感じている」と「とても感じている」の合計は 59.1% となっている。

図 44：豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じているか



(2) 問 41 『あなたは、進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきてほしいと思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 29 のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に低下しており（ $p = 0.028$ ）、豊岡を出ていく子どもたちに対して、将来帰ってきてほしいと思う市民は減少していると言える。

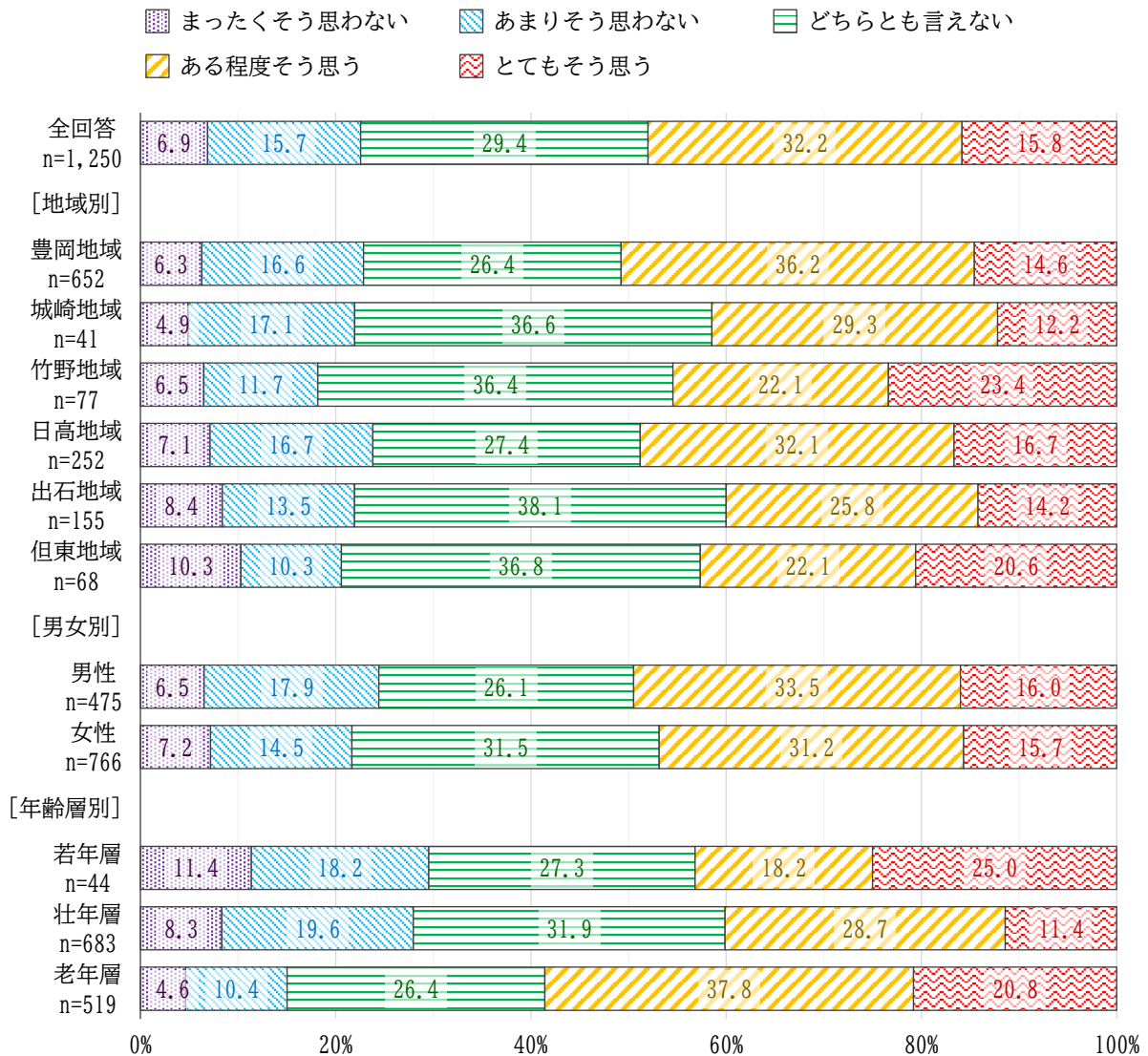
表 29：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.34
2025 年調査	3.44
2024 年調査	3.38

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 45 のとおりである。

年齢層別の老年層で、最も否定的な回答が少なく、肯定的な回答が多くなっている。特に、老年層の「ある程度そう思う」と「とてもそう思う」の合計は 58.6%と、約 6 割となっている。

図 45：豊岡市を出ていく子どもたちに将来帰ってきてほしいと思うか



(3) 問 42『あなたは、豊岡市では市民と市役所の協働によって地域の課題解決が行われていると感じていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 30 のとおりである。

今回調査では、前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p = 0.018$ ）、昨年と比べると「市民と市役所の協働により地域の課題解決が行われている」と感じている市民は増えていると言える。

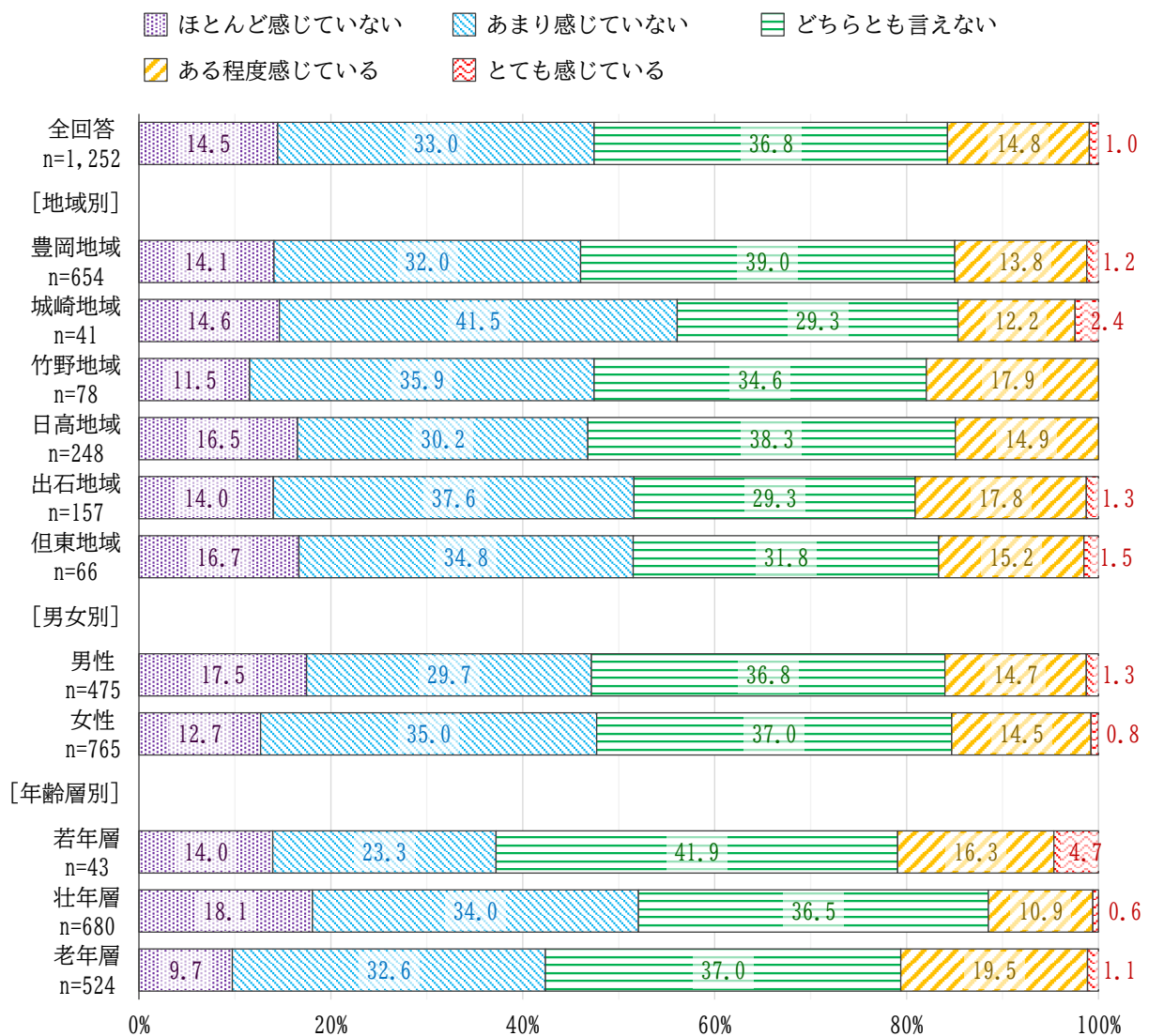
表 30：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.55
2025 年調査	2.46
2024 年調査	2.53

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 46 のとおりである。

年齢層別に見ると、壮年層で最も否定的な回答が多く、肯定的な回答が少なくなっており、前回調査と同様の傾向であった。

図 46：市民と市役所の協働により地域の課題解決が行われていると感じるか



(4) 問 43『あなたは、豊岡市では市民と市役所が十分なコミュニケーションを行って、市民の多様な意見が尊重されていると感じていますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 31 のとおりである。

問 42 と同様、こちらも前回調査から平均値は有意に上昇しており（ $p = 0.030$ ）、昨年と比べると「市民の多様な意見が尊重されている」と感じている市民は増えていると言える。

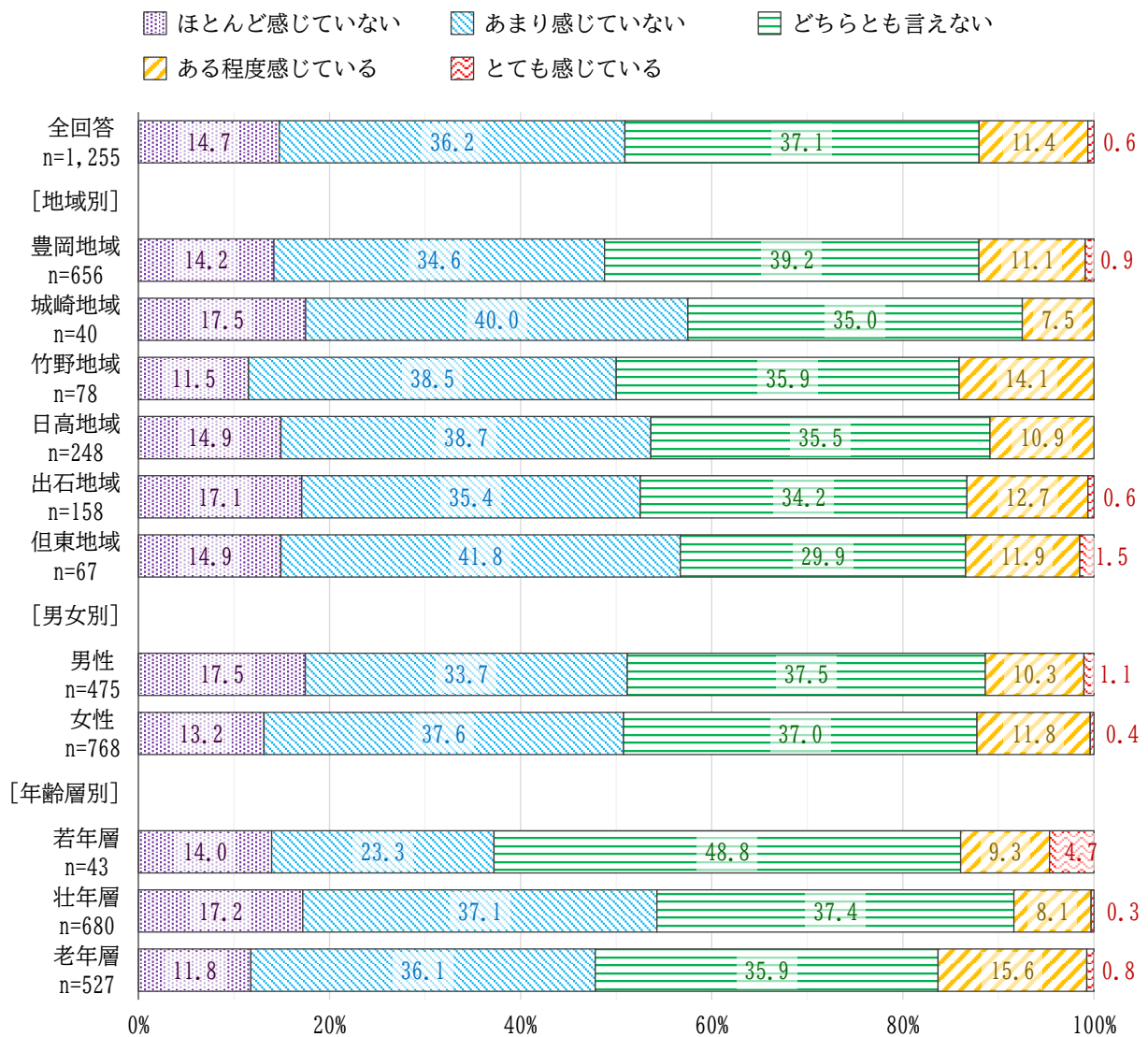
表 31：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	2.47
2025 年調査	2.39
2024 年調査	2.44

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 47 のとおりである。

問 42 と同様に、年齢層別の壮年層で否定的な回答が多くなっており、「ほとんど感じていない」と「あまり感じていない」の合計は 54.3%と、半数を超えている。

図 47：市民の多様な意見が尊重されていると感じるか



問 42 及び問 43 につき、本アンケートのほかの設問との相関関係の強さを見るため、今回調査における相関係数※の上位 5 件を、下の表 32 にまとめた。なお、いずれの組み合わせも無相関検定において 1 %水準で有意（母集団の相関係数が 0 ではない）である。

組み合わせのうち、「豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じているか」のほか、文化芸術に関する設問や子育てに関する設問に肯定的な回答をしている人ほど、問 42 と問 43 に肯定的な回答をする傾向にあることがわかる。アンケート内のどの設問と相関関係が強いかについては、前回調査とほぼ同様の傾向であった。

問 42 と問 43 の相関係数は 0.81（前回調査は 0.75）であり、強い正の相関が認められる。

表 32：問 42 及び問 43 とほかの設問との相関係数

	問 42	問 43
問 31 「豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思うか」	0.42 (0.33)	0.40 (0.35)
問 40 「豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じているか」	0.43 (0.36)	0.38 (0.36)
問 32 「豊岡市を質の高い文化芸術に触れられる機会が多いまちだと思うか」	0.38 (0.34)	0.38 (0.35)
問 12 「豊岡市で安心して子育てができると思うか」	0.35 (0.28)	0.36 (0.31)
問 13 「豊岡市は子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思うか」	0.34 (0.30)	0.34 (0.36)

※括弧内は前回調査の相関係数

※ 2 つの変数間の相関関係の強さを表す効果量のこと。値は -1 から 1 の間を取り、絶対値が 1 に近いほど相関関係が強いことを表す。値が正の場合は、「一方が増えれば他方も増える」という関係性となる。

(5) 問 44 『あなたの住む地域にもっと観光客が来てほしいと思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 33 のとおりである。

回答平均値は、2024 年調査と 2025 年調査の 2 調査連続でその前年の調査から有意に低下していたが、今回調査では有意な変化は見られず、下げ止まった形となっている。

表 33：調査年ごとの回答平均値

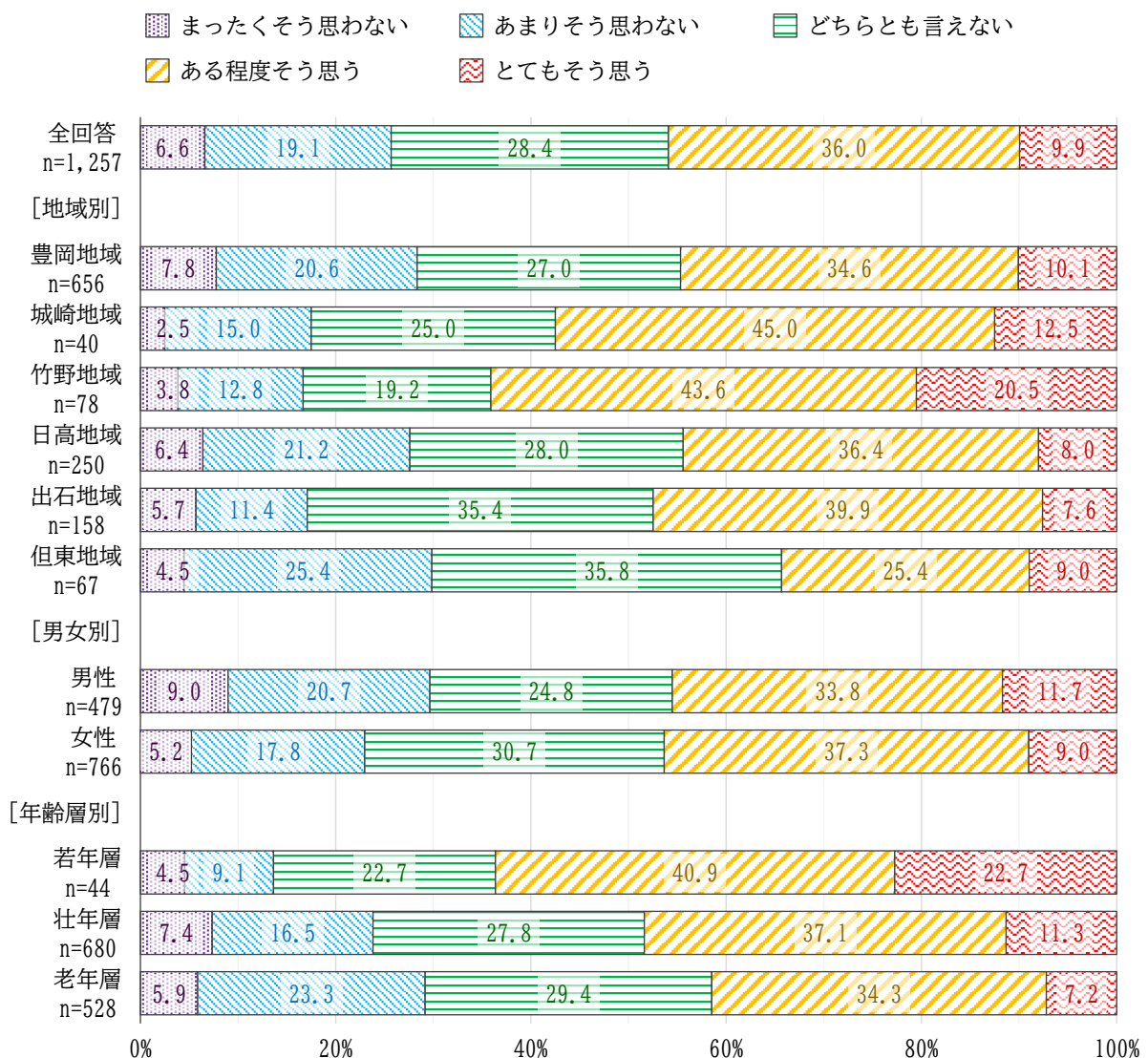
2026 年調査	3.24
2025 年調査	3.23
2024 年調査	3.52

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 48 のとおりである。

地域別では、城崎地域及び竹野地域で、肯定的な回答がほかの地域よりも多くなっている。城崎地域は前回調査と同程度であるが、竹野地域は 46.9%から 64.1%と、17.2 ポイント増加している。

年齢層別では、年齢が低いほど否定的な回答が少なく、肯定的な回答が多くなっていることがわかる。特に、若年層の「とてもそう思う」の回答割合が 22.7%と、比較的高くなっている。

図 48：居住地域にもっと観光客が来てほしいと思うか



(6) 問 45 『市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか』

これまでの調査における全回答の回答平均値は、表 34 のとおりである。

前回調査から有意な変化は見られない。

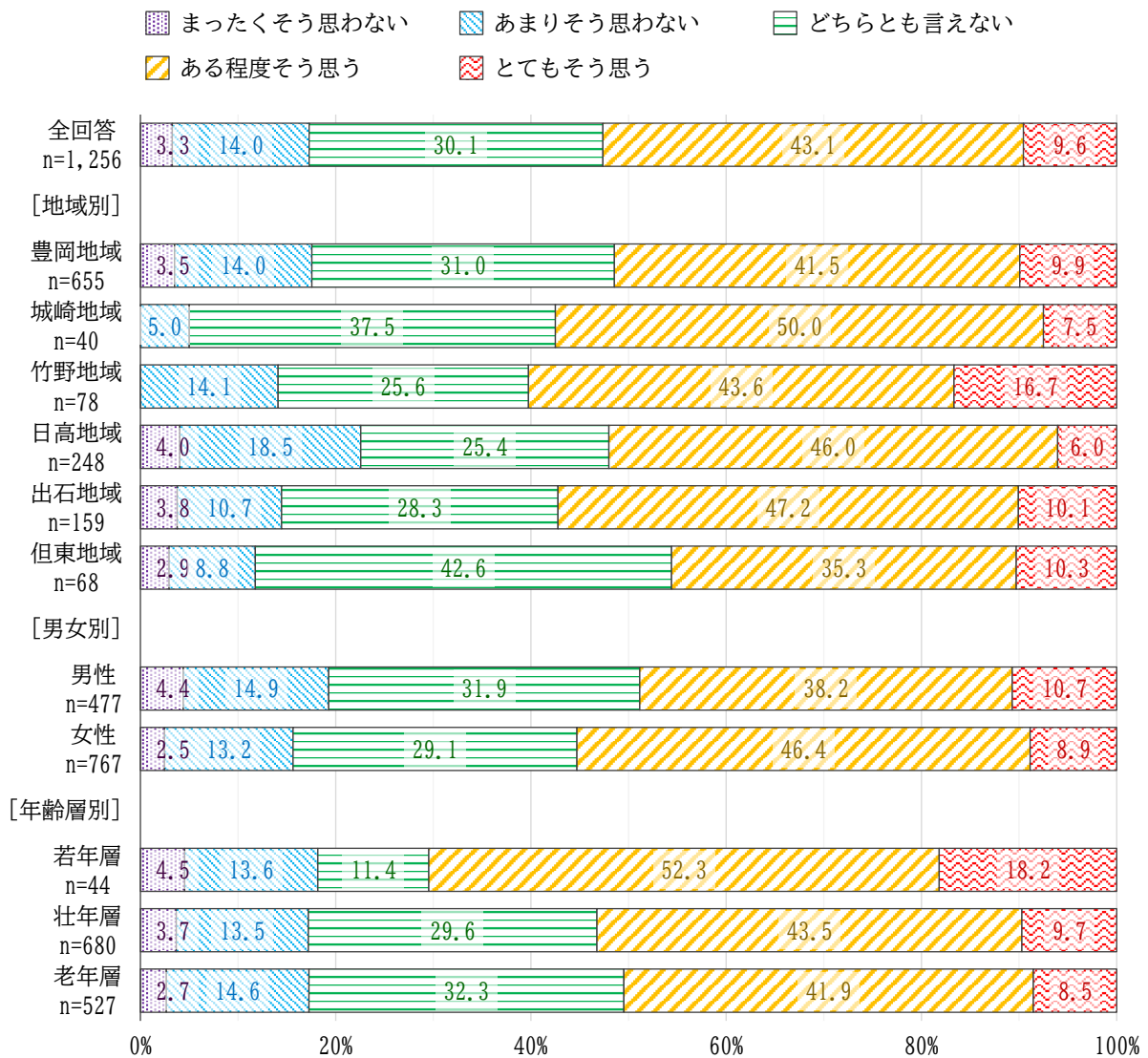
表 34：調査年ごとの回答平均値

2026 年調査	3.42
2025 年調査	3.38
2024 年調査	3.39

今回調査における、主な属性別の選択肢ごとの回答割合は、図 49 のとおりである。

問 44 とほぼ同様の傾向であるが、年齢層別の若年層で、「ある程度そう思う」と「とてもそう思う」の合計が 70.5%と、肯定的な回答が特に多くなっている。

図 49：訪れる価値のあるまちとして豊岡市を勧めたいと思うか



### III 調査票

# 2026年豊岡市まちづくりアンケート

## ～政策モニタリング調査～

日頃から市の取組みにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊岡市では、よりよいまちづくりに活用するため、毎年、アンケートを実施しています。

このアンケートは、18歳以上の豊岡市民の皆さまの中から3,000人を無作為に抽出して送付しており、すべて匿名で処理され、個人に関わる情報が公開されることはありません。

また、集計結果は政策の改善の目的のみに使用し、その他の目的に使用することはありません。

アンケート回答の所要時間は約20分です。お忙しいところ恐縮ですが、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

2026年1月16日

豊岡市

**【返送締切：2026年2月6日(金)】**

## Webフォームからも回答可能です。

スマートフォン等で右の二次元コードを読み取るか、

下記のURLからWeb回答サイトを表示して回答をお願いします。

<https://forms.cloud.microsoft/r/83Pw57HQVa>

Web回答された場合は、この調査票の返送は不要です。



《お問い合わせ》

豊岡市役所 経営企画課（担当：酒井、藤田）

電話：0796-21-9022 FAX：0796-24-5932

Eメール：keieikikaku@city.toyooka.lg.jp

◆豊岡市の重要政策について評価しています。

豊岡市では、市の重要政策について評価を行い、立案した政策の改善に結び付けたいと考えています。

政策の改善の手がかりの一つにするために、このアンケートを定期的実施しています。これからもこのアンケートを実施し、政策が順調に進んでいるかどうか、どうすればもっとうまくいくかについて等の情報を得た上で、政策の改善を検討していきたいと考えています。

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

===== <あなた自身について> =====

【問1】 あなたの性別は？

- (1)男性 (2)女性 (3)その他

【問2】 あなたの年齢は？

- (1)10代 (2)20代 (3)30代 (4)40代 (5)50代 (6)60代 (7)70代 (8)80代以上

【問3】 あなたの職業(最も多く収入を得ているもの)は？

- (1)会社員、会社役員 (2)自営業(農業含む) (3)公務員 (4)パート、アルバイト  
(5)専業主婦・主夫 (6)学生 (7)NGO、NPO (8)無職(年金収入のみを含む)  
(9)その他( )

【問4】 あなたはどこの地区にお住まいですか？

- (1)豊岡地区 (2)八条地区 (3)三江地区 (4)田鶴野地区 (5)五荘地区 (6)新田地区  
(7)中筋地区 (8)奈佐地区 (9)港地区 (10)神美地区 (11)城崎地区 (12)竹野南地区  
(13)中竹野地区 (14)竹野地区 (15)国府地区 (16)八代地区 (17)日高地区 (18)三方地区  
(19)清滝地区 (20)西気地区 (21)弘道地区 (22)菅谷地区 (23)福住地区 (24)寺坂地区  
(25)小坂地区 (26)小野地区 (27)資母地区 (28)合橋地区 (29)高橋地区

【問5】 あなたの同居家族の構成は？

- (1)ひとり暮らし (2)夫婦のみ (3)夫婦と20歳未満の子ども  
(4)ひとり親と20歳未満の子ども (5)二世世代家族(親と子。(3)(4)を除く)  
(6)三世世代家族(親と子と孫) (7)その他( )

【問6】 あなたの同居家族に高校生以下の子どもがいる場合は、その人数を教えてください。

小学生以下の子ども: \_\_\_\_\_ 人 中学生の子ども: \_\_\_\_\_ 人 高校生の子とも: \_\_\_\_\_ 人

【問7】 あなたのお住まいの居住形態は、どれにあたりますか？

- (1)持ち家(一戸建て) (2)持ち家(マンション等集合住宅)  
(3)賃貸(一戸建て) (4)賃貸(マンション等集合住宅)  
(5)社宅・寮・シェアハウス等 (6)その他( )

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

=====**<自然と環境について>**=====

【問8】あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)ほとんど感じていない | (2)あまり感じていない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度感じている  | (5)とても感じている  |              |

【問9】あなたは、生物多様性保全のためにどのような取組みが重要と思いますか？重要と思われるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| A 稲作(コウノトリ育む農法など) | B 耕作放棄地のビオトープ化        |
| C 間伐              | D 自然に配慮した工法による河川整備    |
| E 環境教育の実施         | F 農地や農業施設の適正な管理       |
| G 湿地、里山などの保全活動    | H 自然体験活動の実施による自然への理解  |
| I 里山の整備           | J コウノトリをシンボルとした様々な取組み |
| K その他( )          |                       |

【問10】あなたは、地球温暖化対策として、普段どのようなことを実践していますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| A 省エネ行動(節電など)                  | B ゴミの減量化(分別の徹底など)         |
| C 公共交通の利用                      | D 自然エネルギーの活用(太陽光パネルの設置など) |
| E クールスポットの活用                   | F エコ家電の購入                 |
| G 環境に配慮した製品の購入(オーガニック、有機JASなど) |                           |
| H クールビズ、ウォームビズの実践              | I リサイクルショップなどの活用          |
| J 地球温暖化についての議論や対話              | K その他( )                  |

【問11】あなたは、森林資源(木質バイオマス)や自然エネルギー(太陽光、風力、水力)などの「持続可能な地域資源」が有効に利用されていると思いますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)まったくそう思わない | (2)あまりそう思わない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度そう思う   | (5)とてもそう思う   |              |

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

===== <子育てと教育について> =====

【問12】 あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていますか？

- (1)まったくそう思わない      (2)あまりそう思わない      (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う      (5)とてもそう思う

【問13】 豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない      (2)あまりそう思わない      (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う      (5)とてもそう思う

【問14】 あなたのまわりの子どもたち(小学生・中学生)は、まわりの大人たちとのあいさつや会話ができますか？

- (1)ほとんどできていない      (2)あまりできていない      (3)どちらとも言えない  
(4)かなりできている      (5)とてもよくできている

【問15】 あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち(小学生・中学生)はどのくらい参加していますか？

- (1)ほとんど参加していない      (2)あまり参加していない      (3)どちらとも言えない  
(4)かなり参加している      (5)とてもよく参加している

【問16】 あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていますか？

- (1)まったくそう思わない      (2)あまりそう思わない      (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う      (5)とてもそう思う

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

=====**<環境と経済について>**=====

【問17】 日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

- (1)まったくしていない (2)していない (3)分からない (4)している (5)とてもしている

【問18】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになるとおもいますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

=====**<健康と運動について>**=====

【問19】 あなたは現在、自分が健康だと思えますか？

- (1)まったく思わない (2)思わない (3)思う (4)とてもそう思う

【問20】 あなたは健康維持・増進のために運動(1日30分以上)をしていますか？

- (1)ほぼ毎日している (2)週に3日以上している (3)週に2日している  
(4)週に1日以下 (5)していない

【問21】 【問20】の回答で(1)～(4)を選択した方にお尋ねします。その運動はどのくらい継続されていますか？

- (1)1年以上 (2)6か月～1年未満 (3)3か月～6か月未満 (4)3か月未満

【問22】 あなたは1年前と比べて、「歩くこと」など体を動かす健康づくりをする回数に変化はありますか？

- (1)かなり減った (2)減った (3)変わらない (4)増えた (5)かなり増えた

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問23】 あなたは体を動かす健康づくりとして、どのようなことを実践していますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 日常生活の中で歩くようにしている(近いところなら歩くなど)
- B 歩数計、携帯電話、スマートフォンなどを活用し、自分の歩数を把握する
- C ウォーキングやジョギングをする
- D 健康ポイント制度に参加する
- E 自宅でテレビやDVDに合わせて体操する
- F 玄さん元気教室に参加する
- G 自宅で筋力トレーニング(スクワットなど)をする
- H 地域(老人クラブなど)のグラウンドゴルフなどに参加する
- I スポーツ 21 やサークル(卓球、太極拳など)に参加する
- J 職場でラジオ体操やストレッチをする
- K 講師がいる運動教室に参加する
- L 運動施設(プール・ジムなど)に通う
- M 農作業で体を動かしている
- N 特に何もしていない
- O その他( )

\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

=====公共交通について=====

【問24】あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることはありますか？

- |                 |                |             |
|-----------------|----------------|-------------|
| (1)ほとんど感じたことはない | (2)あまり感じたことはない | (3)感じることもある |
| (4)しばしば感じている    | (5)いつも感じている    |             |

【問25】あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか？利用される頻度の高いものから3つ選んで記号を書いてください。

回 答 記 入 欄		
最も頻度が高い：[ ___ ]	2番目に頻度が高い：[ ___ ]	3番目に頻度が高い：[ ___ ]

選 択 肢			
(1)徒歩	(2)自転車	(3)バイク	(4)家族や知人の送迎
(5)福祉タクシー	(6)タクシー	(7)鉄道	(8)バス
(9)マイカー	(10)その他( )		

【問26】あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。

(1)大阪方面へは行かない	(2)家族や知人の送迎	(3)特急バス	
(4)飛行機	(5)鉄道	(6)マイカー	(7)その他( )

【問27】あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。

(1)東京方面へは行かない	(2)家族や知人の送迎	(3)特急バス	
(4)飛行機	(5)鉄道	(6)マイカー	(7)その他( )







\*該当する項目(英数字)を○で囲んでください。また、回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問42】 あなたは、豊岡市では市民と市役所の協働によって地域の課題解決が行われていると感じていますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)ほとんど感じていない | (2)あまり感じていない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度感じている  | (5)とても感じている  |              |

【問43】 あなたは、豊岡市では市民と市役所が十分なコミュニケーションを行って、市民の多様な意見が尊重されていると感じていますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)ほとんど感じていない | (2)あまり感じていない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度感じている  | (5)とても感じている  |              |

【問44】 あなたが住む地域にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)まったくそう思わない | (2)あまりそう思わない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度そう思う   | (5)とてもそう思う   |              |

【問45】 市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| (1)まったくそう思わない | (2)あまりそう思わない | (3)どちらとも言えない |
| (4)ある程度そう思う   | (5)とてもそう思う   |              |

【自由記述欄】

アンケート項目で特に思うことや、豊岡市の市政全般についてご意見がありましたら記入してください。


アンケートは以上です。  
ご協力、ありがとうございました。